

8-14
婦人労働業務参考資料第60号

中高年令婦人の就業に関する資料

中高年令婦人の就業分野拡大に関する
懇談会参考資料

昭和44年1月

労働省婦人少年局

は し が き

近年、若年労働力、技能労働力を中心とする労働力不足を反映して、産業界の中高年齢婦人に対する期待は高まってきています。

また、一方では就業を希望する中高年齢婦人も年々増加しており、なかには、各種の職業能力をもつ者が数多くおります。しかし、中高年齢婦人の就業分野は一般に限定されている傾向がみられ、婦人の能力の有効発揮という点から問題とされています。

このような現状にかんがみ、労働省婦人少年局では、中高年齢婦人の就業分野拡大のための施策をすすめていますが、その一環として、「中高年齢婦人の就業分野拡大に関する懇談会」を全国的に開催することにしました。

この資料は、当懇談会において懇談、検討を進めるうえの資料として作成したものです。

昭和44年/月

労働省婦人少年局

目 次

1. 中高年令婦人の雇用の現状	(1)
(1) 職場で働く中高年令婦人がふえています	(1)
(2) 中高年令婦人は全国的にみるとかなり広い分野にわたって働いて いますが、その分布には若年女子と異った特徴がみられます	(4)
2. 中高年令婦人の就業についての諸条件、意識等	(22)
(附) 労働力人口、学卒就職者等の今後の見とおし	(27)
3. 労働力としての中高年令婦人の特徴 (第16回婦人労働問題研究会議概要より)	(31)
(1) 生理的特徴について 東京大学助教授 石河利寛	(31)
(2) 心理的特徴について 労働科学研究所心理研究部長 狩野広之	(38)

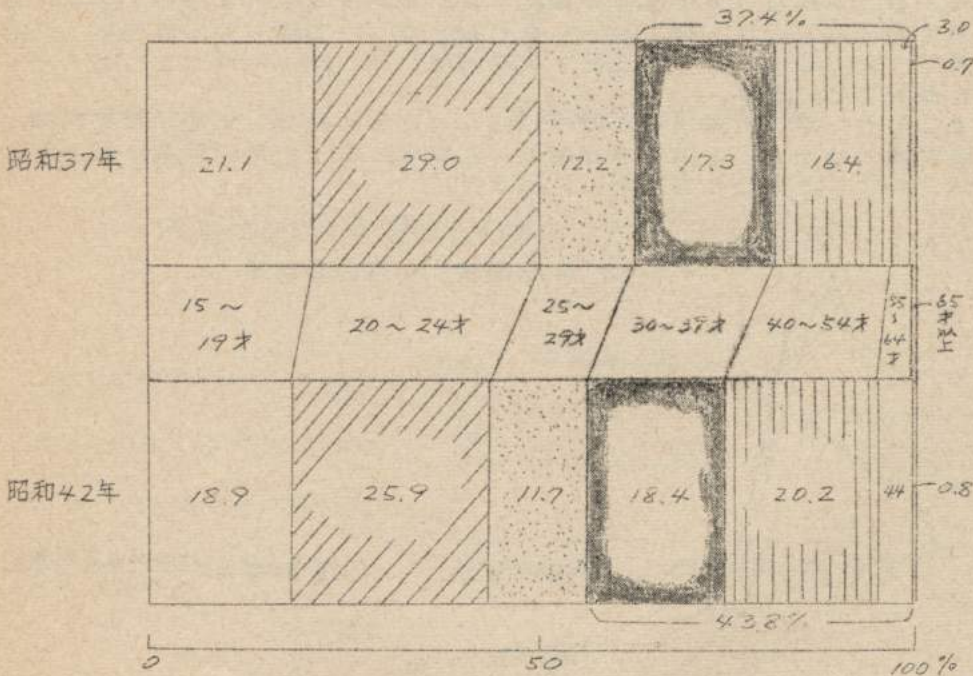
1. 中高年齢婦人の雇用の現状

(1) 職場で働く中高年齢婦人がふえています。

女子雇用者は年々増加し、42年現在約1,000万人となり、雇用者総数の3分の1をしめています。

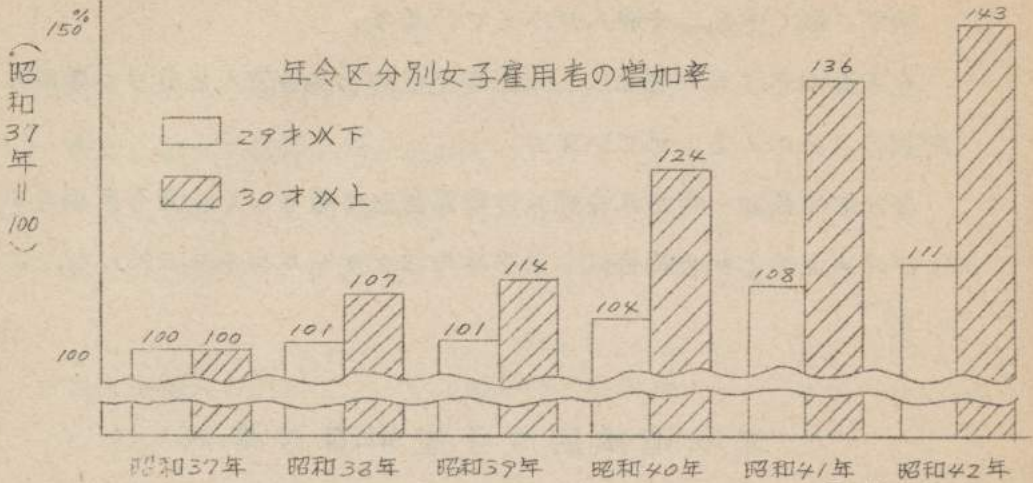
なかでも最近、中高年齢婦人の職場進出は著るしく、女子雇用者中30才以上のしめる割合は、37年の37.4%から43.8%になりました。

年齢階級別女子雇用者の構成



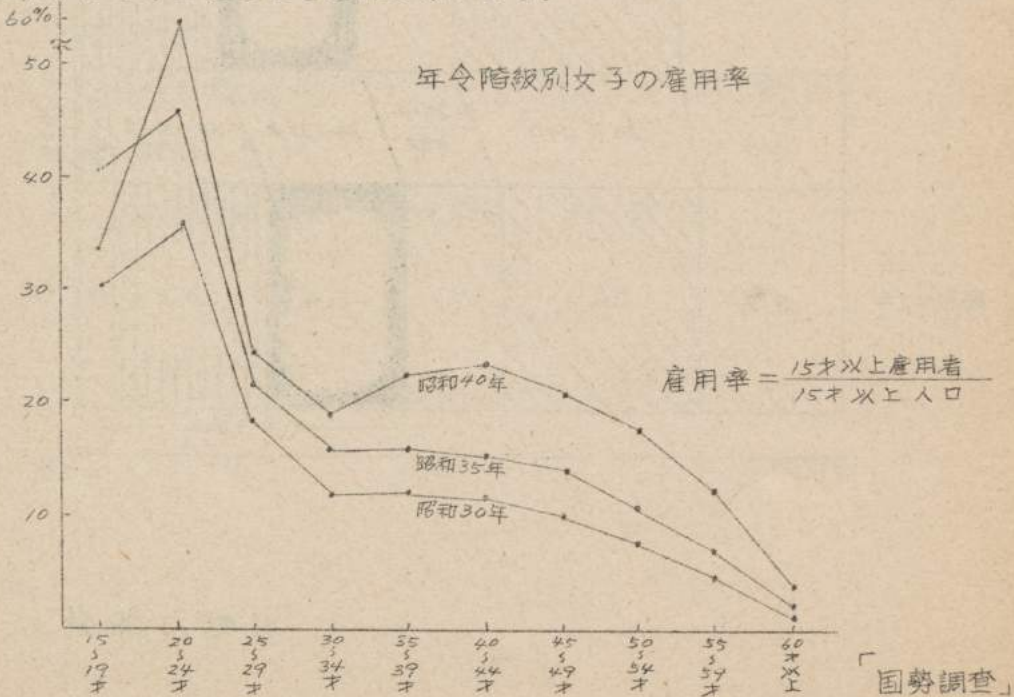
「労働力調査」

30才以上の女子雇用者の増えかたは、29才以下の増えかたを年々大きく上回っています。

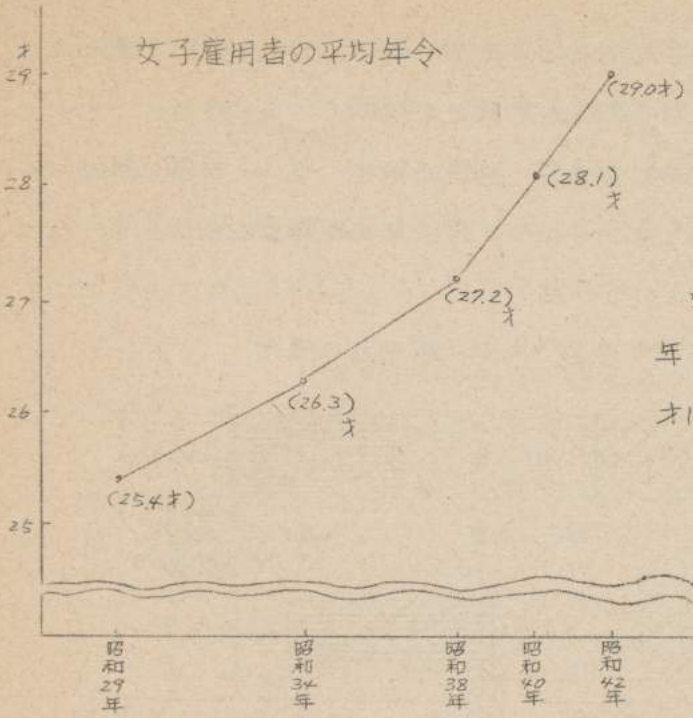


婦人の雇用率は、年々各年令階級において高まっていますが、40年には従来の型(20~24才が唯一のピークであった。)を破って一度低下した雇用率が、30~34才を境に再び上昇しはじめ、40~44才に2つめのピークを形成しています。

すなわち、若い未婚時代に働き、25~34才の結婚、出産、育児時期に一旦家庭にはいり、子供の手が離れ、中高年になって再び職場に出る型の婦人がふえてきたことを現わしています。



女子雇用の平均年齢



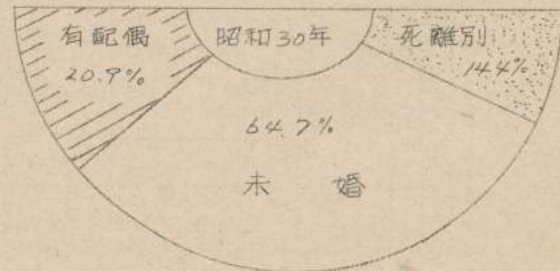
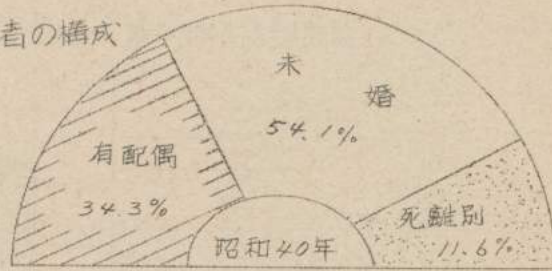
女子雇用の平均年齢は年々高まって、42年は29才になりました。

注 規模 10人以上

「賃金構造基本統計調査」

配偶関係別女子雇用の構成

女子雇用者の中で既婚者の割合は、30年には3分の1でしたが、40年には約2分の1になりました。

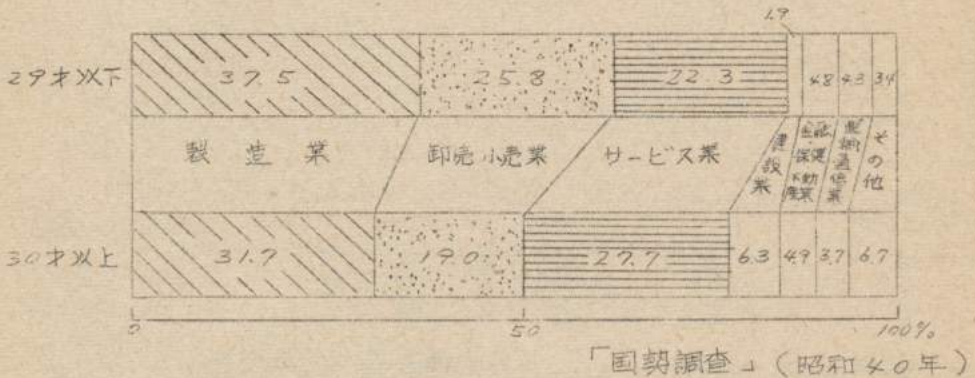


「国勢調査」

(2) 中高年齢婦人は全国的にみるとかなり広い分野にわたって働いていますが、その分野には若干女子と異った特徴がみられます。

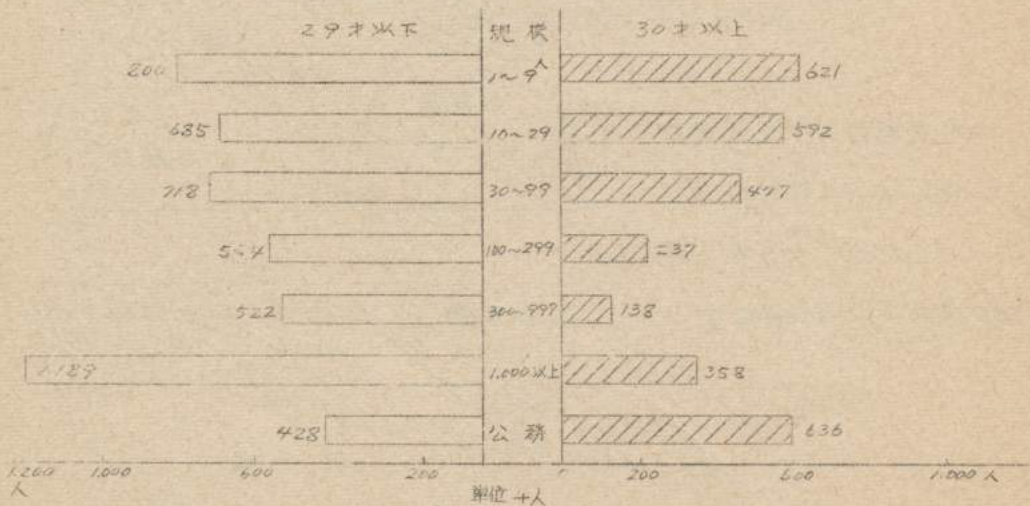
女子雇用者の大部分は製造業、卸売小売業、サービス業に従事してはいますが、30才以上の女子はサービス業に従事する割合が高くなっています。

産業別年齢区分別女子雇用者の構成



30才以上の女子は規模の小さな企業に多く働いています。

企業規模別年齢区分別女子雇用者数

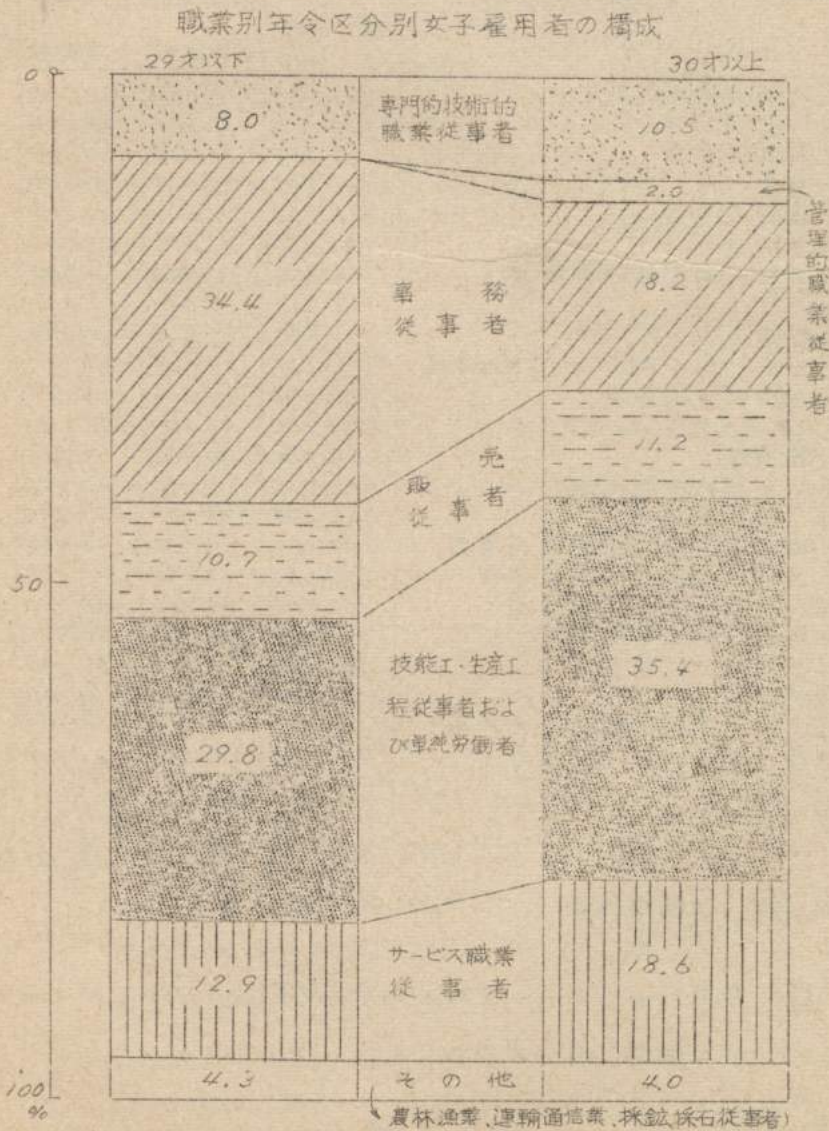


注) 農林業をのぞく

「就業構造基本調査」(昭和40年)

職業別にみると、30才以上の女子は技能工・生産工程従事者及び単純労働者として働く割合が高く、若年女子は事務従事者として働く割合が高くなっています。

また、専門的技術的職業、管理的職業の従事者の割合は、高いとはいえませんが、いづれも若年女子より高くなっています。



「国勢調査」(昭和40年)

30才以上の女子は、採鉱、採石、建設、木・竹・草つる製品、他に分類されない単純労働者等の職業分野での割合が高くなっています。また電気機械器具、計器、光学機械器具、化学製品製造従事者等の分野では低くなっています。

職業別(中分類) / 15才以上女子就業者数

職 業	区 分	総 数	30才以上	29才以下	総数に占める 30才以上女子の 占める割合%
			女子実数	女子実数	
専門的技術的職業従事者		765,600	519,900	445,700	53.8
教 官		324,100	215,600	108,500	66.5
管理的職業従事者		79,200	76,300	2,900	96.3
事務従事者		2,707,400	826,600	1,880,800	30.5
採鉱・採石従事者		12,700	11,600	1,100	91.3
運輸通信従事者		256,400	56,600	199,800	22.1
陸上運輸機関運転従事者		6,300	1,800	4,500	28.6
水上		1,500	1,300	200	86.7
通信従事者		171,000	49,500	122,300	28.8
技能工・生産工程従事者および単純労働者		4,076,500	2,225,600	1,850,900	54.6
金属材料製造従事者		23,000	17,400	5,600	75.7
電気機械器具組立・修理従事者		228,900	46,300	182,600	20.2
輸送機械組立		14,900	9,100	5,800	61.1
計器・光学機械器具組立		52,500	9,800	42,700	18.7
製糸・紡織従事者		858,200	337,000	521,200	39.3
木・竹・草つる製品製造従事者		146,100	115,700	30,400	79.2
パルプ・紙・紙製品製造従事者		103,600	62,900	40,700	60.7
窯業・土石製品製造従事者		101,900	65,200	36,700	64.0
飲食料品製造従事者		306,200	209,700	96,500	68.5
化学製品製造従事者		43,300	13,200	30,100	30.5
建設従事者		21,500	17,400	4,100	80.9
掘削機関・建設機械運転従事者		500	400	100	80.0
他に分類されない単純労働者		734,100	572,800	161,300	78.0
保安サービス従事者		5,100	4,000	1,100	78.4

40年 国勢調査〔15才以上就業者〕

② 職業に占める30才以上の女子の割合が60%以上および40%

以下の職業を抜すい掲載した。

企業において中高年令婦人を採用しようとする職種は若年女子に比ベ少なく、パートタイマー等の身分で採用しようとする傾向が目立っている。

企業が女子をふやす予定の職種の産業別分布

産業別 年令階層別	若年労働者	中高年令層	年令不問	年令不明
(1) 食料品製造業	単純労働者 包装工 事務従事者 一般事務員 パン・ビスケット類製造工 和菓子製造工 その他の飲食料品製造業者 酒類製造工 麺類製造工 (生産部門) (本工) (臨時工)	その他の飲食料品製造業者 (パートタイマー) (臨時工)	単純労働者 包装工 その他の飲食料品製造業者 (常用工) (一般工) (臨時工) (製パン製菓部)	単純労働者 包装工 食料品製造業者 その他の飲食料品製造業者 パン・ビスケット類製造工 缶詰食品工 肉製品製造工 事務従事者 一般事務員 事務補助員 (臨時工)
(2) たばこ製造業	その他の技能工・生産工程業者 たばこ製造工			たばこ製造工 包装工
(3) 繊維製造業	紡績工 織布工 検査工 織機準備工 事務従事者 生産管理事務員 一般事務員	織布工 準備工 補修工 (パートタイマー) (臨時工) (本工)	織布工 紡績工 化繊紡績工 準備工 探寸工 ジャージ編工 縫製工	紡績工 織布工 縫製工 擦糸工 仕上精紡工 ワインダー工 その他の機械組立・修理業者

年齢階層別 産業別	若年労働者	中高年齢層	年齢不問	年齢不明
	裁断・縫製作業者		染色工	機械調整工
	縫製工		その他の機械 修理工	検査工
	仕上精紡工		機械保全工 (臨時工)	メリヤス編立工
	捻糸工			繰糸工
	ミュール工			綱縮工
	紡織工			織機台持工
	繰糸工			マシン縫製工
	メリヤス編立工			織布準備工
	手なつ染工			(本工)
	織布検査工			(臨時工)
	機械技術者			(製造部門)
	機械運転工			(仕上部門)
	混打セ工			
	紡績工			
	化繊紡績工			
	機械保全工			
	整経工			
	靴下編立工			
	トリコット編立工			
	マシン縫製工			
	機械レース工			
	下拵工			
	織機台持工			
	現場事務員			
	検反工			
	染色工			
	補修工			

年齢階層別 産業別	若年労働者	中高年齢層	年齢不問	年齢不明
	単純労働者 呂 杖 工 選 別 工 ラップ運搬工 水 洗 工 紙 取 工 製 綿 工 機械運転工 製品検査工 (本 工) (臨時工) (生産部門)			
(4) 衣服・その他 の繊維製造業	ミシン縫製工 衣料仕上工 検 査 工 フェルト製造工 その他裁断・ 縫製作業者 裁 断 工 プレス仕上工 事務員 一般事務員 (本 工) (製造部門) (臨時工)		ミシン縫製工 アイロン工 アイロン見習工	ミシン縫製工 撰 別 手 (パートタイマー)
(5) 木材・木製品 製造業	合 板 工 塗装仕上工		合 板 工 単純労働者 雑 役	合 板 工 紙 屑 工

年齢階層別 産業別	若年労働者	中高年齢層	年齢不問	年齢不明
	木工 機械木工 (木工) (臨時工) (生産部門)			単純労働者 荷造工 包装工 (臨時工)
(6) 家具技術員 製造	塗装仕上工 家具組立工 (木工) (臨時工)		(臨時工)	木工 塗装仕上工 家具組立工 (臨時工)
(7) パルプ・紙 紙加工品製造業	針金止工 製袋製造工 事務員 一般事務員 単純労働者 包装工 仕上検査工 荷造工 選別工 (木工) (生産部門) (臨時工)		選別工 紙器製造工 (臨時工)	選別工 事務員 事務補助員 倉庫事務員 単純労働者 包装工 (製品部門)
(8) 出版印刷 同関連産業	製本工 印刷工 製版工 事務員 一般事務員 (検査部門) (臨時工)		文選工 解版工 写真製版工 活版印刷工 平版印刷工 表紙仕上工 (臨時工)	邦文タイフスト 扇護婦 事務員 一般事務員 事務補助員 オセット印刷工 写真植字工

年齢階層別 産業別	若年労働者	中高年齢層	年齢不問	年齢不明
	(本 工)		(パートタイム)	修 正 工 文 選 工 植 字 工 製 本 工 紙 器 製 造 工 通信従事者 電話交換手 オペレーター (臨 時)
(9) 化学工業	分析工 単純労働者 包装工 選別工 薬品包装工 薬品検査工 薬品食品包装工 化学薬品製造工 事務従事者 一般事務員 (本 工) (事務部門) (開発研究部門) (包装手作業部門)			医薬品小分工 塗 料 工 ワインダー工 化学技術者 試験室助手 事務従事者 一般事務員 事務見習員 (臨 時 工) (事務部門) (研究実験部門)
(10) ゴム製品製造業	ゴム製品成型工 現場雑役 検査工 成型工 チューブ工	(パートタイム) (生産補助工) (臨時工)	ゴム貼付工 ミシン工 縫製工	製 造 係 検 査 工 現 場 員 仕 上 工 成 型 工

年齢階層別 産業別	若年労働者	中高年齢層	年齢不明	年齢不明
	単純労働者 包装工 (本工) (臨時工) (生産部門)			マシン工 ゴム工 (パートタイマー) (臨時工) (日産)
(11) 皮革・同製品 製造業	革くつ底付工 仕上工 (本工) (臨時工)			甲種工 (臨時工)
(12) 窯業・土石製品 製造業	タイル成型工 転写紙貼付工 ろくろ成型工 単純労働者 包装工 一般事務員 一般事務員 (祐上秤電乾機関係) (本工) (臨時工) (生産部門)		単純労働者 種 役 施 釉 工 (生産部門)	タイル成型工 組立工 ろくろ成型工 大理石加工工 (パートタイマー) (本工) (臨時工)
(13) 鉄 鋼 業 非鉄金属製造業	金属製品検査工 ブラインダー工 フライス盤工 傍物中子工 医療深焼技術者 栄養士 事務員 一般事務員	単純労働者 包装工 種 役 (パートタイマー) (臨時工)	手仕上工 (臨時工) (生産部)	その他の金属 加工作業者 金属製品検査工 機械検査工 圧延工 単純労働者 包装工 現場員

年齢階層別 産業別	若年労働者	中高年齢層	年齢不問	年齢不明
	単純労働者 包装工 雑役 作業的事務員 タイピスト 通信従事者 電話交換手 (熟練工) (本工) (臨時工) (見習工) (事務部門)			事務従事者 一般事務員 事務補助員 (パートタイマー)
(14) 金属製品製造業	組立工 金属製品検査工 手仕上工 機械工 事務従事者 一般事務員 単純労働者 包装工 作業的事務員 タイピスト 通信従事者 電話交換手 (本工) (生産部門) (臨時工)	組立工 機械工	組立工 (パートタイマー) (本工)	一般事務員 組立工 製缶組立工 半田付工 (パートタイマー) (臨時工)

産業別	年令階層別	若年労働者	中高年令層	年令不問	年令不明
(15) 機械製造業	機械組立工 機械検査工 手仕上工 研磨工 中子工 機械作業員 機械技術員 機械調整工 機械組立工 塗装工 芯取工 ベアリング検査工 製図工 金属プレス工 単純労働者 現場員 包装工 事務従事者 一般事務員 作業的事務員 タイピスト (本工) (臨時工)	単純労働者 雑役 鋳物中子工	手仕上工 研磨工 鋳造工 組立工 機械組立工 形削り盤工 ホール盤工 鋳造工 芯取工 事務従事者 一般事務員	機械組立工 機械検査工 鋳造中子工 研磨工 手仕上工 作業的事務員 タイピスト 単純労働者 現場員 事務従事者 一般事務員 (生産補助工) (パートタイマー) (臨時工)	
(16) 電気機械器具製造業	電気機械器具組立工 電気製品検査工 捲線工 現場員 テレビジョン組立工	単純労働者 雑役 (パートタイマー) (臨時工)	電気機械組立工 (パートタイマー)	電気機械組立工 配線工 捲線工 電気機械器具組立工	

年齢階級別 産業別	若年労働者	中高年齢層	年齢不問	年齢不問
	ラジオ組立工			(パートタイマー)
	研磨工			(臨時工)
	機械組立工			
	組線工			
	ターレット工			
	フライス盤工			
	製函工			
	作業監督			
	放電管製造工			
	配線工			
	乾電池			
	組立工			
	手仕上工			
	被覆電線製造工			
	モーター組立工			
	コンデンサー			
	組立工			
	電気通信機械組工			
	現場作業員			
	事務従事者			
	一般事務員			
	単純労働者			
	包装工			
	(本工)			
	(臨時工)			
	(事務部門)			

産業別	年齢階層別	若年労働者	中高年齢層	年齢不問	年齢不明
(17) 輸送用機械器具 製造業		組立工 検査工 スポット溶接工 トレース工 事務補助員 ガス溶接工 その他の技術 補助工 機械操作員 自動車検査工 プレス工 事務従事者 一般事務員 事務補助員 パンチヤー (本工) (臨時工) (事務部門) (生産部門)	単純労働者 推役 組立工 (臨時工)		組立工 機械工 検査工 研磨工 孔明工 手仕上工 その他の技術工 生産工程作業者 塗装工 事務従事者 一般事務員 (事務部門)
(18) 精密機械器具 製造業		組立工 検査工 研磨工 レンズ研磨工 仕上工 調整工 ガラス目盛工 体温計製作工 事務従事者	組立工 (パートタイマー)		組立工 レンズ研磨工 機械組立工 機械工 単純労働者 掃除婦

産業別 年令階層別	若年労働者	中高年令層	年令不問	年令不明
	一般事務員 (本工) (生産部門)			
(19) 武器その他の 製造業	組立工 機械工 検査工 仕上工 現図工 単純労働者 包装工 事務従事者 一般事務員 (製造部) (本工員) (見習工)	仕上工	組立工	組立工 仕上工 調整工 検査工 (生産部門)
(20) 卸売業・小売業	事務従事者 一般事務員 販売店員 事務従事者 現金出納事務員 販売員 通信従事者 電話交換手 作業的事務員 タイピスト 一般事務員 事務補助員 事務計算器 オペレーター	その他のサービス業 寮監督 商品在庫 出納事務員 単純労働者 配達人 (パートタイマー)	選別工 販売店員 単純労働者 事務従事者 現金出納事務員 単純労働者 雑役 (パートタイマー)	販売店員 出納事務員 通信従事者 電話交換手 事務補助員 芸術家・芸能家 デザイナー 縫製工 販売店員 英文タイピスト 伝票整理事務員 一般事務員 一般事務員

産業別	年齢階層別	若年労働者	中高年令層	年令不問	年令不問
		対個人サービス 職業従事者 エレベーター係 エスカレーター係 レジスター (工員) 単純労働者 雑役 対個人サービス 職業従事者 座敷女中 給仕人 (喫茶店) その他単純労働者 雑役 (パートタイマー) (営業時間) (各部門補助員)			包 装 工 卸 缶 組 立 工 単純労働者 雑 役 レジスター 給 仕 人 キーパンチャー 料 理 人 タイピスト 対個人サービス 職業従事者 美 容 師 単純労働者 雑 役 (パートタイマー) (臨 時) (争務部門) (販売部門) (営業部門) (製造部門)
(21) 飲 食 店		ウエイトレス レジスター 調理人 接客係 店 員 (サービス部門)	その他のサー ビス職業従事者 炊 事 係 単純労働者 雑 役		レジスター 給 仕 販 売 員 ホ ス テ ス 単純労働者 雑 役 (パートタイマー) (サービス部門)

年令階層別 産業別	若年労働者	中高年令層	年令不問	年令不明
(22) 金融保険業	一般事務員 (基幹部門)	販売員 販売外文員 その他のサー ビス職従事者 寮 母 (保険販売部 門担当者)	販売員 (日 産)	販売員 オペレーター 事務従事者 一般事務員 事務補助員
(23) 運輸通信業(道 路旅客運送業)	車 掌 観光バス車掌 ケーブルカー車掌 事務従事者 一般事務員		車 掌	車 掌 一般事務員 観光バス車掌 (サービス部門) (事務部門)
(24) 通信業および 電気業	電話交換手 一般事務員 オペレーター			電話交換手 オペレーター
(25) 対個人ならび にその他のサ ービス業	ウェイトレス 接客女中 キャデ"イ 仲 居 座敷女中	清掃員 食器洗じよう係	女 中	販売員 清掃員 単純労働者 雑 役 事務従事者

年齢階層別 産業別	若年労働者	中高年齢層	年齢不明	年齢不明
	下 女 × ード 事務従事者 一般事務員 その他の専門的 職業従事者 編集員 娯楽場等の接客員 パナソコ係 (本 エ) (サービス部門)			一般事務員 (事務部門)
(26) 医療保健業	医療保健技術者 看護婦 准看護婦 看護助手 保健婦 給食係員 事務従事者 一般事務員	医療保健技術者 看護婦 准看護婦	医療保健技術者 看護婦 准看護婦 (パート・タイマー)	医療保健技術者 看護婦 准看護婦 看護助手 衛生検査技師 保健婦 事務従事者 一般事務員

産業別	若年労働者	中高年齢層	年齢不問	年齢不明
				炊事係
				雑役
				事務見習員
				清掃員
				助産婦
				検査技術者
				給食係員
				(パートタイマー)

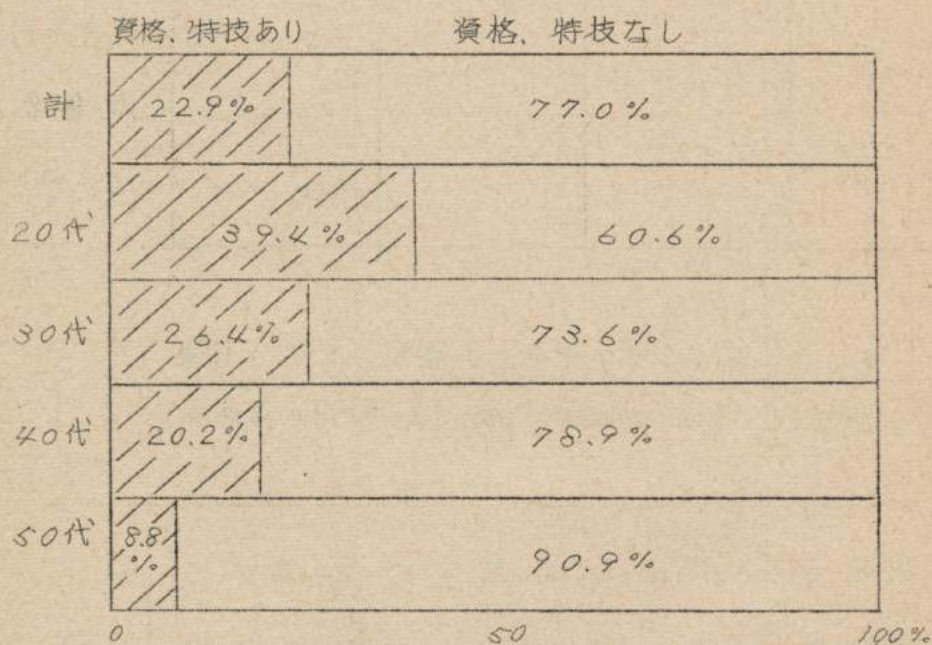
婦人少年局 「女子労働者の雇用の状況」調査

昭和38年

2. 中高年令婦人の就業についての諸条件、意識等
 年令の高い婦人ほど資格、特技をもつ者の割合が少なくなっています。

資格、特技ありのうち主なものは、経理、筆記、ソロバン、運転免許、教員、保母、和洋裁、あみもの等です。

婦人の資格、特技の取得状況

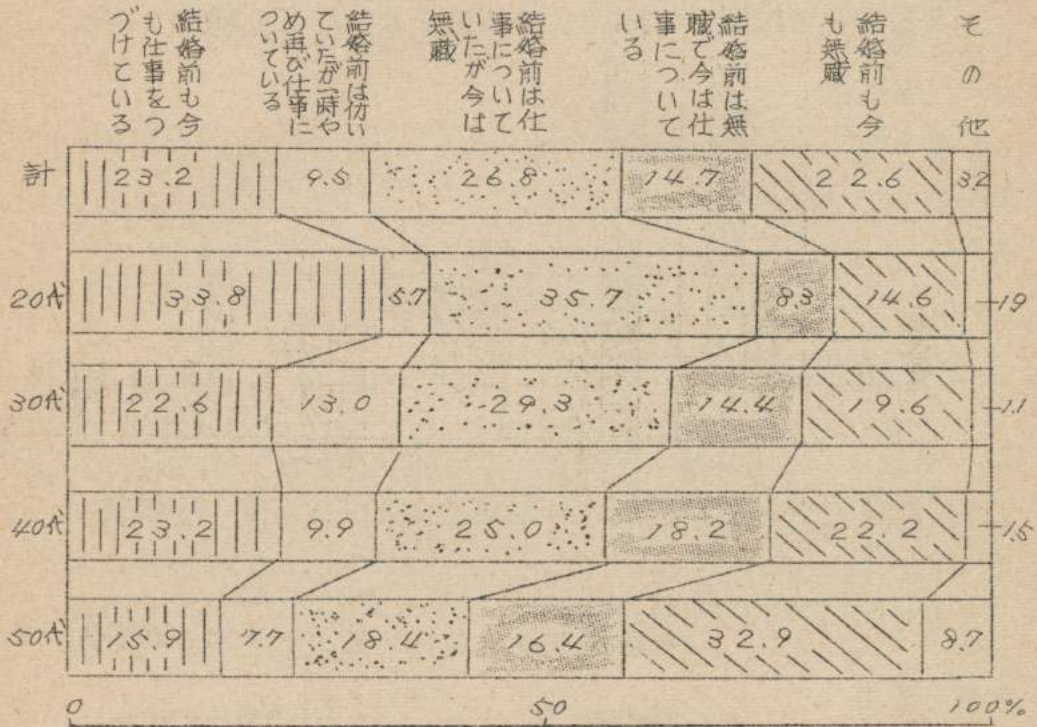


婦人少年局「婦人の生活構造と意識に関する調査」
 (昭和40年)

婦人の多くは、職業経験をもっています。

これを年代別にみると、年代の高い婦人ほど職業経験のない者の割合がたがくなっています。

婦人の結婚前後の就職状況

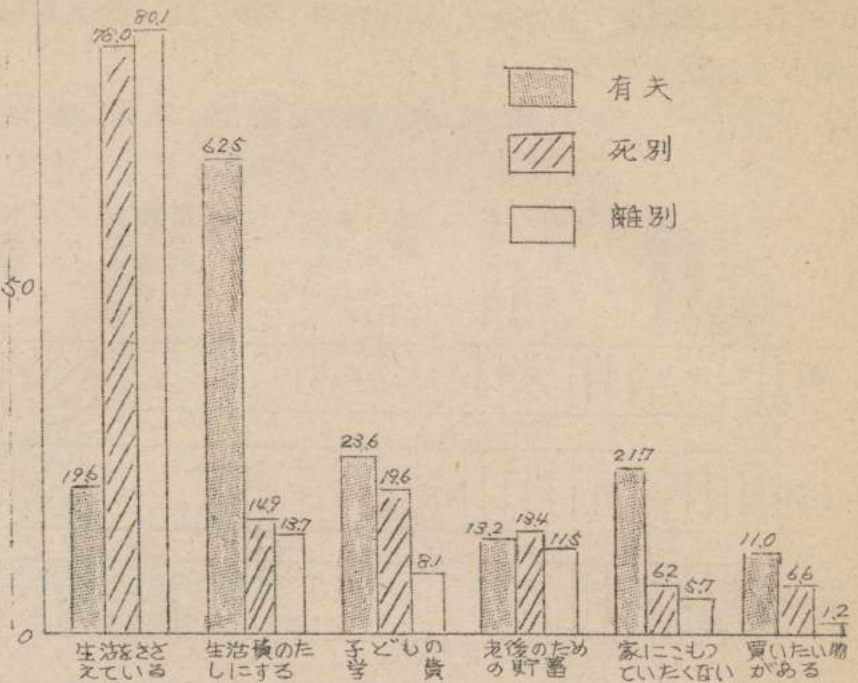


婦人少年局「婦人の生活構造と意識に関する調査」

(昭和40年)

既婚女子労働者の配偶関係別主な就業理由

有夫の女子労働者の就業理由は、「生活費のたしにする」が過半数を占めています。

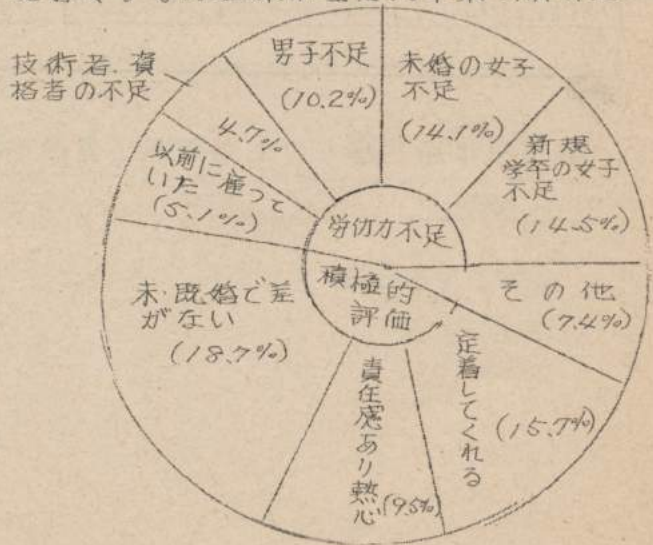


婦人少年局 「既婚女子労働者に関する調査」

(昭和41年)

既婚女子労働者の採用理由は、労働力不足と既婚女子の長所を認めているとする事業所が約半々です。

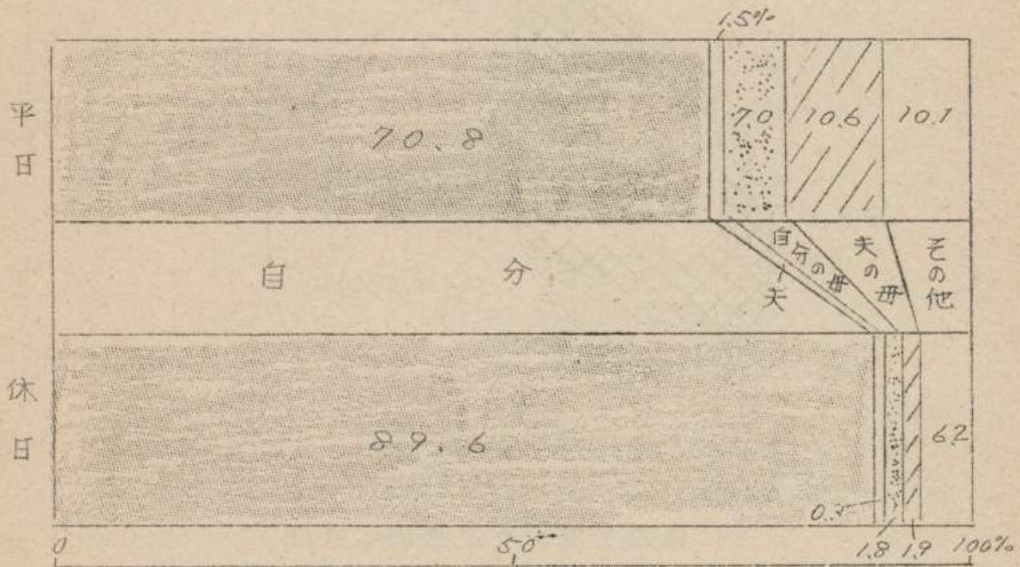
既婚女子労働者採用理由別事業所構成比



婦人少年局 「既婚女子労働者に関する調査」(昭和41年)

既婚女子労働者の大部分は家事労働担当者です。

既婚女子労働者の平日、休日における家事労働担当者構成



◎既婚女子労働者の75%が30才以上です。

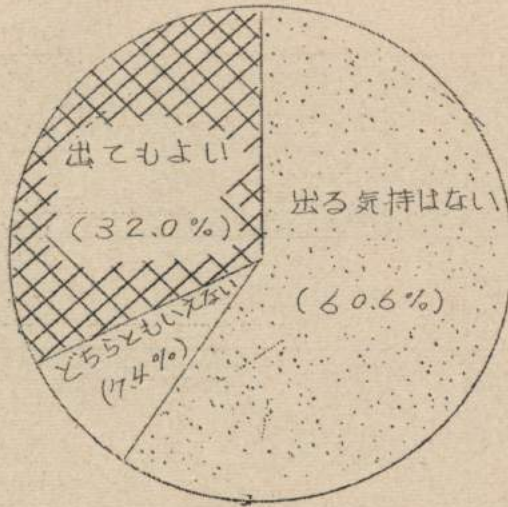
婦人少年局 「既婚女子労働者に関する調査」

(昭和41年)

無職の婦人の約3分の1は就業を希望しています。

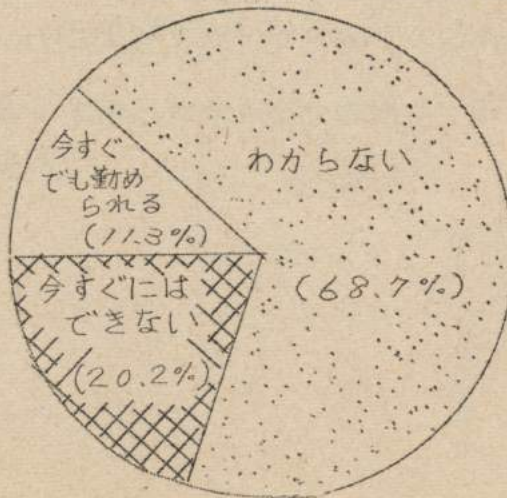
そのなかで「今すぐでも勤められる」というものと、子供の世話の問題等、諸種の支障があるので「今すぐにはできない」というものを合わせると3分の1は就職の希望をはっきりもっているといえましょう。

無職の婦人の就職の希望



無職の婦人の就職の可能性

(上図で出てもよいと答えたものについて)



総理府 「婦人の就業に関する世論調査」(昭和41年)

(附)

労働力人口、学卒就職者等の今後の見とおし

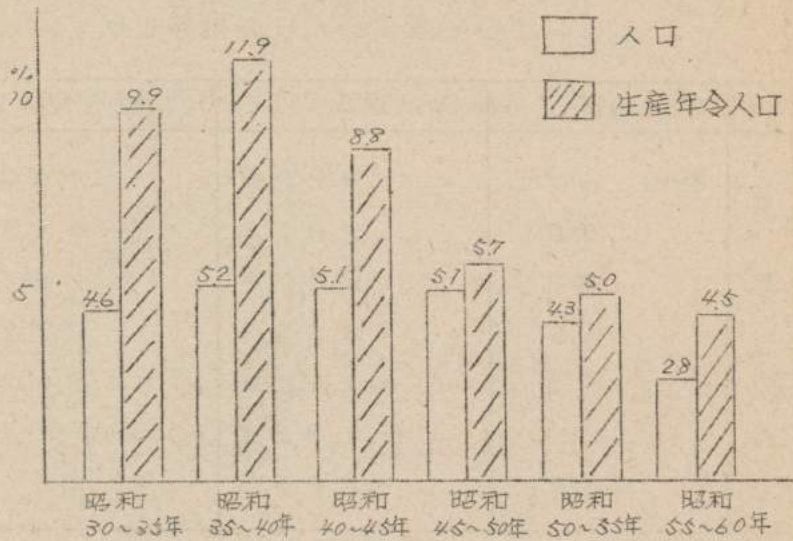
人口および生産年令人口の推移と見とおし

年次		人口	生産年令人口
実 数 (万 人)	昭和 30年	8,928	5,948
	35	9,342	6,535
	40	9,827	7,311
	45	10,333	7,952
	50	10,864	8,402
	55	11,327	8,818
	60	11,646	9,212

昭和30、35、40年は「国勢調査」、昭和45、50、55、60年は厚生省人口問題研究所「男女年令別将来推計人口」(昭和39年6月1日推計)

将来、人口、生産年令人口とも増加率は低下が予想されていますが、人口に比較し生産年令人口の増加率の低下が大きいことが予想されます。

人口及び生産年令人口の増加率



昭和30、35、40年は「国勢調査」、昭和45、50、55、60年は厚生省人口問題研究所「男女年令別将来推計人口」(昭和39年6月1日推計)

15才以上人口の年令別構成は、将来、若年者のしめる割合の減少が予想され、若年労働力の不足が一層深刻になるものと思われます。

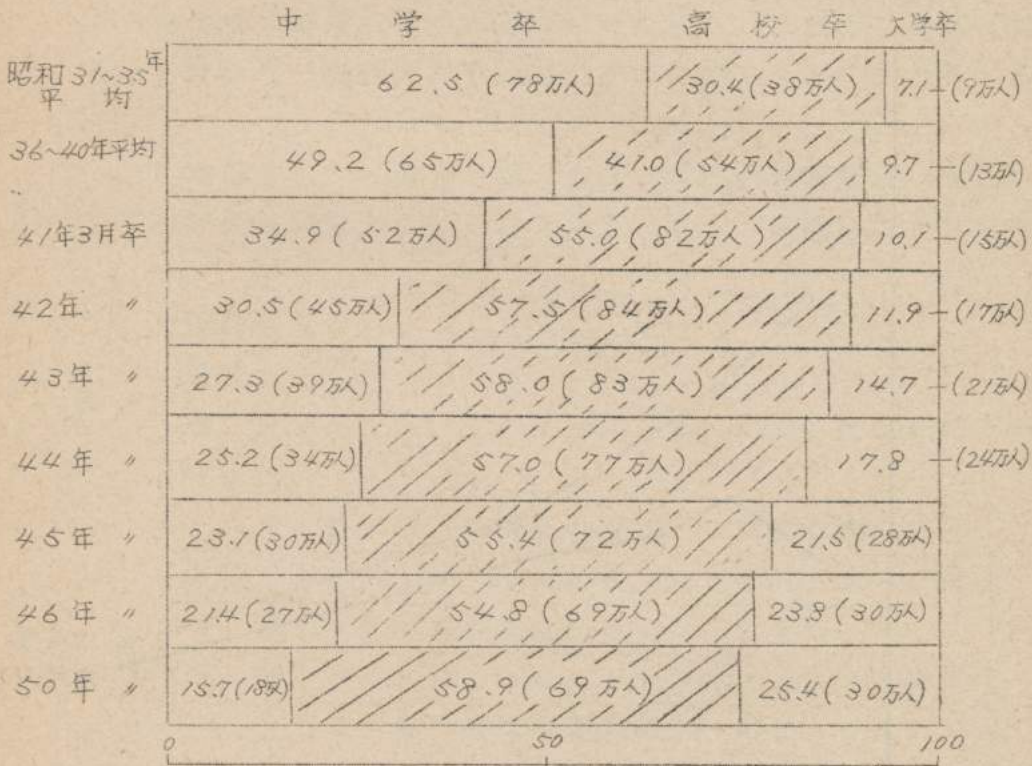
15才以上人口の年令別構成の見通し

	15~24才	25~34才	35~49才	50~59才	60才以上
昭和 35年	27.4	24.0	24.1	17.9	12.6
40年	27.7	22.7	24.8	17.8	13.0
45年	25.2	22.4	26.8	17.7	13.9
50年	20.0	24.0	28.2	12.3	15.4
60年	17.3	18.1	30.5	15.9	18.2
	50			100%	

人口問題研究所「男女年令別将来推計人口」(昭和39年6月1日推計)

新規学卒就職者の割合を学歴別にみると、将来、中学卒の割合が大巾に減少し、高校卒、大学卒の割合の増加が予想されます。

学歴別新規学卒就職者の推移と見とおし



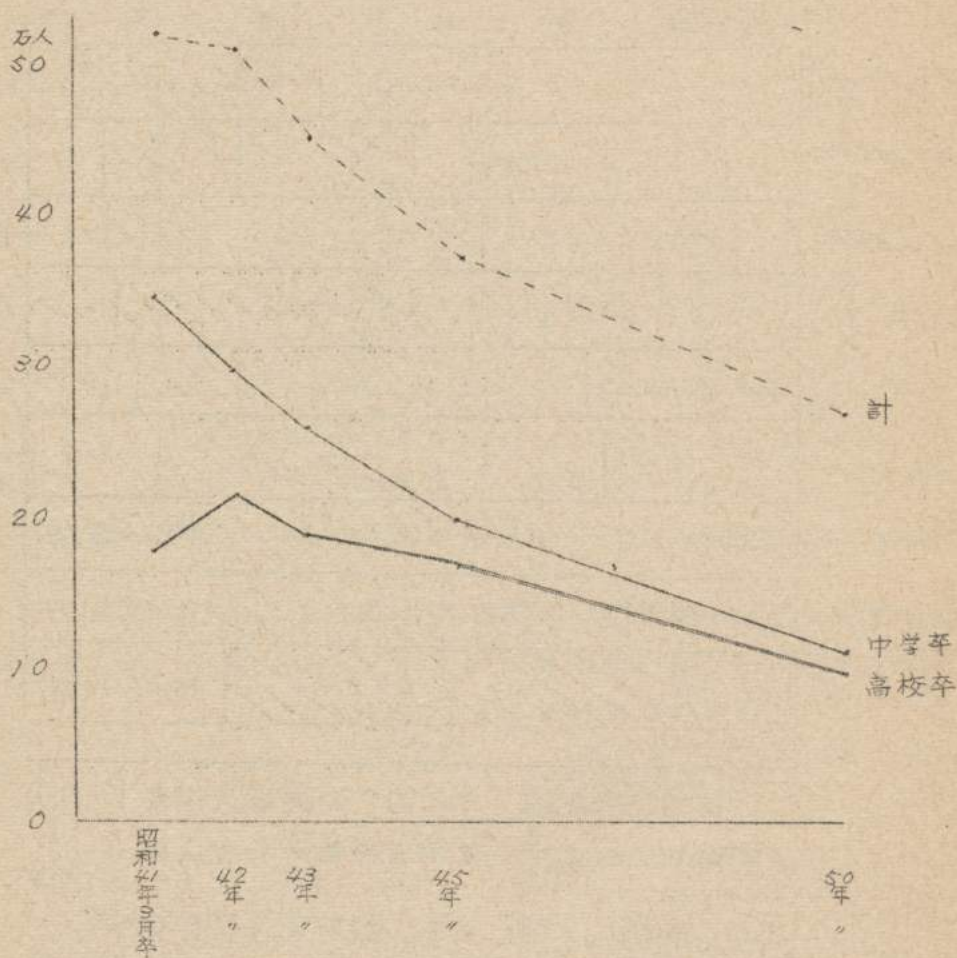
昭和31~42年 文部省「学校基本調査」

昭和43~50年 労働省職業安定局推計

注) 高校は全日制、大学、短大は昼間制である。
大学、短大は高等専門学校を含む。

技能職種等への新規学卒就職者は、中学卒、高校卒とも将来ますます減少していくものと予想されます。

技能職種等への新規学卒就職者の推移と見とおし



昭和41年、42年3月卒 「学校基本調査」

43年～50年3月卒 労働省職業安定局推計

注) 1. 各年の就職者のうち「技能工、生産工程作業員および単就労働者」の就職割合は、昭和41年3月卒のそれと及べらぬと仮定した場合の推計である。(41年の就職者の割合は中学64.5%、高校22.1%)

2. 高校は全日制のみである。

3 労働力としての中高年齢婦人の特質（第16回婦人労働問題研究会議概要より）

(1) 生理的特質について 東京大学助教授 石河利範

体力というのは人間の日常活動の基盤となるものである。体力には形態的な要素と機能的な要素の両面が考えられる。形態的なものは、普通、体格、体位と呼ばれているもので身体の大ささを表わし、機能的なものは、身体の働きを表わすものである。

この両面から、中高年齢婦人の体力がどの程度かということをも「国民栄養調査」及び「壮年体力テスト」を基に述べてみたい。

① 形態的特質

○ 身長

第1表のとおり、成人女子は男子に比較し身長が約10cm低い。

第1表 身長の性別、年齢別比較

	20才	30~39才	40~49才	50~59才
女子	153. ^{cm} 8	151.1	149.9	147.7
男子	164. ^{cm} 9	162.7	161.0	159.4

厚生省「国民栄養調査」（昭和40年）

また、20才に比べて、年齢が高くなるに従って身長が低くなっているのは、主として日本人が年々成長していることを示し、統計をみると10年間で約1センチ伸びている。それ以上の開きについては、中高年になって多少姿勢が悪くなった結果と考えてよい。中高年齢の女子の平均身長はほぼ150cm、と考えてよい。

○ 体重

第2表のとおり、成人女子の体重は約50kg、成人男子は57kgで、男子に比較し女子は約7kg軽い。

また、中年になると、身長が低くなることからみて多少

肥り気味であるといえる。しかしこれは平均的數字であつて、實際は肥つている人もいるし、やせている人もおり、個人差が大きいことに注意する必要がある。

一般的に50才を過ぎると、体重は減るのが正常である。非常に肥つた場合は生理的に欠陥があると考えてよい。

第2表 体重の性別、年齢別比較

	20才	30~39才	40~49才	50~59才
女子	50.48 ^{kg}	50.40	50.78	49.57
男子	57.09 ^{kg}	57.74	57.07	55.88

厚生省「国民栄養調査」(昭和40年)

○ 胸囲

第3表のとおり、成人女子は、男子に比べ、胸囲が約5cm少ない。

中年になると、肥ってくるので、皮下脂肪がふえ、それに依りて胸囲も多少ふえるのが普通である。

第3表 胸囲の性別、年齢別比較

	20才	30~39才	40~49才	50~59才
女子	81.6 ^{cm}	82.1	82.5	82.7
男子	86.6 ^{cm}	87.4	87.0	86.9

厚生省「国民栄養調査」(昭和40年)

② 機能的特質

○ 敏捷性

自己の身体を敏捷に動かすテストとして「反復横とび」を行なつた結果が、第4表である。

(注、反復横とびテストとは、三本の線の間を、20秒間に何回またいで側方に跳ぶかをテストしたものである。)

女子は男子と比較して、敏捷性に劣つており、男子の85~90%位の割合になつている。

30才の女子の能力と50才の男子の能力がほぼ等しい。

第4表 反復横とびの性別、年齢別比較

	30才	30~39才	40~49才	50~59才
女子	35. ^回 73	35.13	31.50	28.00
男子	41. ^回 21	40.53	36.99	33.66

注・数字は20秒間に跳んだ回数である。

文部省「壮年体カテスト」(昭和42年)

年代別の変化をみると、中年になるに従って、男女とも平行して敏捷性が低下している。

しかしこのテスト結果は、自分の身体を動かす敏捷性であって、例えば合図によってキイを叩くことなど自分の身体を静止してできる手先の作業などについては、男女の差はないといつてよい。

○ 瞬発力

瞬間的に強い力を出して大きな仕事をする能力を瞬発力とよぶ。

たとえば、ボールを投げるとか、跳躍することなどで、瞬発力には、力とスピードの両方が同時に働くことが必要で、「筋力」と「敏捷性」の噛み合った様なものである。

第5表は、垂直跳びによって、瞬発力を測定した結果を示したものである。

第5表 垂直とびの性別、年齢別比較

	30才	30~39才	40~49才	50~59才
女子	33. ^{cm} 76	31.04	26.48	22.44
男子	52. ^{cm} 74	50.34	43.58	37.91

文部省「壮年体カテスト」(昭和42年)

女子は、一般に瞬発力が非常に劣っており男子の65%位の能力しかない。

30才の女子と60才の男子の能力がほぼ等しく、この能力は比較的男子が得意である。

年齢による瞬発力の低下は男女ともに著しい。

○ 筋力

筋力の出す力を握力によって調べた結果が第6表である。握力は、ただ握るだけでなく、非常に強い力を出すことが必要で、成人女子は約30kg、男子は約45kgである。

女子の握力は男子の65%位の能力で、女子は一般に男子に比較して筋力が弱い。

第6表 握力の性別、年齢別比較

	30才	30~39才	40~49才	50~59才
女子	29.59 ^{kg}	29.22	27.87	25.00
男子	45.73 ^{kg}	45.78	43.35	40.00

文部省「壮年体力テスト」(昭和42年)

中高年になるにしたがって、体力的に落ちやすいものと落ちにくいものがあるが、筋力は、男女とも年齢による能力の低下が比較的ゆるやかである。

○ 柔軟性

身体を前にかがめ、床から下に手が何センチ位とどくかで柔軟性を測定したのが第7表である。

第7表 立位体前屈の性別、年齢別比較

	30才	30~39才	40~49才	50~59才
女子	16.04 ^{cm}	15.38	13.62	12.29
男子	12.67 ^{cm}	11.62	10.64	5.08

文部省 調査 (昭和42年)

柔軟性は、敏捷性、瞬発力、筋力と異なり男子より女子が優れている。

女子の50才と男子の30才の能力がほぼ等しい。

中年になるに従い、次第に柔軟性は減少するが、普通考えられるほど低下せず、比較的ゆるやかである。むしろ個人差の方が非常に大きいといえる。

③ 結 論

以上のように、女子の体力は、身長、体重、胸囲など形態的な能力において、男子より70%位劣っており、機能的能力においても、柔軟性で女子は優れているが、筋力や瞬発力は男子の約 $\frac{2}{3}$ 、敏捷性は約87%で全体的には男子の80%位の体力しかない。

従って、強い力を発揮したり、大きな物を動かす肉体作業は苦手であるといえる。

年齢とともに、体力は男女とも低下するが、男子に比較して女子の低下が著るしいということはなく、低下の割合は男女とも平行している。

機能的能力は項目によつて異なり、また個人差もあるので一概にいえませんが、平均すると、20才位の女子の体力は50才位の男子の体力と同じ位と考えてよい。

ただ、ここで考慮する必要があるのは、ここに掲げた資料が、ごく基礎的なデータであり、一般の日本人の平均像であつて、実際には、個人差や地域差（都市と農村等）があり、また、従事する職業による差など、いろいろな面で差が出てくることで、一概に規定するのは良くない。

また、身体を動かして作業することになると男子に対して女子が劣っているが、身体を静止してできる手先の作業などにおいては、男女差はなく、必ずしも女子が肉体作業に適さないとは言えない。重要なのは、各作業場において、どういう体力がどの程度必要なのを見極めることだと思ふ。

以上のほか、女子の特長としては、性周期があり、身体的にも精神的にも影響され、波がある。若い人は生理時に苦痛が強く、年をとると軽くなる傾向がある。性周期も個人差が大きいことを考慮する必要がある。

(質 疑)

——昔と比べ、体位が向上したとよく言われるが、体力も向上しているのだろうか。

○ 資料が少なくて断定的なことは言えないが、私の感じとしては、体位は向上したが、体力は昔と同じ位ではないかと思う。体位が向上すれば体力も強くなるのが本当だが、そうっていないのは問題だ。アメリカ人は日本人より体位は上だが、ジャンプカ、長距歩、懸垂などでは、日本人より弱い、日本人の中では都会人は体力面で落ちるようである。

——かつて日本人は水泳が強かったが現在はアメリカが強い。このことは訓練によるものが、又は体力等の特長といえるものなのか。

○ アメリカが、今、水泳が強いことの一つには設備の問題があると思う。日本には年間を通して練習できる設備がなく、この練習上の差ともう一つはやはり体位の差だと思う。身体が大きければ水の抵抗もふえるが、それ以上に推進力が大きくなると考えられる。

日本人がアメリカ人と対等に戦えるものがあるとすれば、ウエイト制のあるもの、例えば、レスリング、拳闘、柔道等である。また心臓が問題になるマラソン、柔軟性、巧緻性が問題となる体操なども対等にできよう。

——環境(例えば冷房中の屋内、じんあいの多い作業場など)に対する、適応は男女で違うか。

○ はっきりいえないが、女子は脂肪が多いため寒さに強いことはいえると思う。じんあいに対する性差はみとめられないようである。

——中高年令婦人の体力は、若い人に比べ落ちるが、それが訓練によつてある程度カバーできるものなのかどうか。

○ その辺が大変大切なことだが、若い時からずっと持続してやっている作業や動作ならば、中高年になったからといって若い人に比べ落ちるということはない。たゞ中高年になって初めて就職するとか別の職業に変わるといった場合、それに対する適応が若い人に比べおそいということがある。また体カも劣っているのも若い人と同じレベルまでゆがないことがある。わかりやすい例でいえば、中高年になってゴルフを初めた場合、ある程度までうまくゆくが若い時初めたほどうまくならないということがある。

また、中高年になると非常に個人差があり、20代の若さを保っている人もいるし、よぼよぼの人もいる。したがって中高年になって職業転換しても結構うまくやる人もいるわけである。

——女子が生理休暇を善用する問題が良く出るが、体カ的にみてどうか。

○ 身体的にも精神的にも非常に個人差が大きい。休みをとらねばならない人もいるし、平気な人もいるだろう。

中高年令婦人の心理的特質について、労働科学研究所「成人知能検査」及び「パーソナリティ・テスト」によって述べてみたい。

労研の「成人知能検査」は次の特徴をもっている。

- ① 過去数十年にわたり作業現場の労働者を一定の方法でテストしたものである。
- ② 比較的、中高年層までデータが揃っている。
- ③ 対象者がほとんど日本全国にわたっている。
- ④ 作業現場の職種が広範囲にわたっている。(農村、山林労働、工場、商店、公務等2,000職種)

以上の特徴をもっており、最近では、こういうテストは生産時間にくいこむため、経済的な問題や、人権問題等でデータを得るのが困難になっており、貴重な資料である。

この知能検査によって、一般日本人の成人の精神水準が一定の方法でスケールの上にのせられているとみてよいわけである。

また、技術面からいえば、従来は年令別、男女別に相対尺度で結果表が作成されていたが、ここでは、男女差とが年令差が同じ尺度の上で比較できる絶対尺度で作成されたことである。

一般に「知能検査」の知能という言葉が、頭の良し悪しを判定するテストのように思われがちだが、そういう人間に対する価値概念を示したのではなく「身長」とが「体重」といったノ種の精神的な機能の個人差を調べるための測定上の数字であることを理解されたい。

以上のことを前提にして、中高年令婦人の心理的特質について次にのべてみたい。

- (1) 中高年令婦人の知能水準と職種別、部門、地区別知能水準
第ノ表は、男女と年令をこみにした知能測定の数値が出ている。これを絶対尺度といっている。第ノ表によって中高年令

婦人のうち、一応40才～44才の女子の測定の値をみると m (平均点) が61.32である。この値を第2表「職種別知能水準」と対比させてみると、40才～44才の女子が、知能水準からみて従事できる職種が、従事できない職種の目安がわかる。第2表のAZS (絶対尺度) の m の値が61.32を上廻る職種は40才～44才の女子には少し無理な仕事ではないかといえる。下まわる職種については問題ないといえる。第2表において上廻っている職種はわずかである。また、測定の値は平均点であり、個人差が大きいことも考慮せねばならない。

第2表において知能が61.32を上廻る職種は、繊維業の24研究・試験・分析、石油業の36泥水試験、37採油試験、42技術社員、金属業の102整備(煖焼)、122試験分析、運輸業の136出札、電気業の146総務関係事務(電力会社)、147調定関係事務(電力会社)、148営業関係事務(電力会社)、149(計)出張所事務(電力会社)、共通職種の163設計(機械関係)、171事務(各種)(レーヨン工場)、172、173事務(各種)(金属工場)である。これらの職種は40才～44才の女子には、知能水準からいって少し無理であるといえる。

第1表の測定の値を、以上のような方法で第3表、第4表の部門別、地位別の測定結果とも対比することができる。40～44才の女子を対比すると、レーヨンの場合、得点は若干高くなっているが、N軽金属では全部下まわっている。

結論としては、知能水準の上から、女子が就き得ない職種部門、地位はほとんどないといつてよい。

表 1 勞研成人知能検査 I (絶対尺度) 得点の平均と標準偏差

年 令	計						男			女		
	n	m	S	n	m	S	n	m	S	n	m	S
	15~19	2,041	74.91	13.10	464	75.40	12.34	1,577	74.76	13.34	1,577	74.76
20~24	1,746	72.94	13.94	1,167	74.83	13.57	579	69.16	13.27	579	69.16	13.27
25~29	1,170	71.56	13.96	1,017	72.64	13.58	153	64.48	14.34	153	64.48	14.34
30~34	855	67.42	13.36	784	97.90	13.42	71	62.25	11.24	71	62.25	11.24
35~39	857	63.66	12.88	785	64.08	12.89	72	59.08	11.86	72	59.08	11.86
40~44	702	61.36	13.08	691	61.36	13.09	41	61.32	12.69	41	61.32	12.69
45~49	424	57.06	11.45	403	57.40	11.26	21	50.80	12.88	21	50.80	12.88
50~54	211	53.62	12.37	205	53.80	12.40	6	47.50	10.24	6	47.50	10.24
55~59	59	51.94	12.35	58	52.24	12.46	1	—	—	1	—	—
60~64	14	41.08	17.37	14	41.08	17.37	—	—	—	—	—	—
65~69	2	59.50	9.00	2	59.50	9.00	—	—	—	—	—	—
50~69	286	52.48	12.98	279	52.50	12.99	7	51.20	11.80	7	51.20	11.80
15~69	8,081	68.96	14.80	5,560	67.88	14.92	2,521	71.40	14.38	2,521	71.40	14.38

注) n = 標本数
 m = 平均点
 S = 標準偏差

第 2 表

職種別知能水準

No	職 種	検 査	凡()は 女子の再掲	Z 凡		A Z S		年 令
				m	s	m	s	
1. 石 炭 業								
1	採 炭 夫(坑内)	I	77(0)	46.9	11.9	48.9	11.0	28.9
2	掘 進 夫(")	"	27(0)	44.2	7.9	46.8	7.8	28.5
3	充 填 夫(")	"	15(0)	55.7	10.7	58.0	10.0	28.5
4	仕 繰 夫(")	"	12(0)	47.9	8.4	46.2	8.2	38.8
5	工 作 夫(")	"	13(0)	49.3	10.9	49.7	10.5	33.7
6	" (坑外)	"	26(0)	53.4	9.0	52.4	8.6	33.3
7	雇 夫(")	"	22(0)	52.9	11.4	51.1	10.5	37.1
2. 織 維 業								
8	型 打(レ-ヨ)	桐	35(35)	49.6	7.1	53.3	6.7	20.7
9	粉 碎 仕 込(")	"	37(0)	54.5	9.9	55.9	9.6	25.1
10	攪 拌 浴 廻(")	"	36(0)	56.1	7.9	57.9	7.7	24.5
11	硫 化 浴 解(")	"	106(0)	56.8	7.5	59.1	7.5	25.6
12	紙 替 布 替(")	"	39(2)	54.3	10.3	57.0	10.0	24.4
13	紡 糸 台 持(")	"	504(0)	51.7	8.9	54.7	8.5	24.6
14	バ ス 回 取(")	"	48(7)	55.2	8.1	56.0	8.4	30.6
15	総 巻(")	"	434(434)	47.5	8.4	51.7	8.2	21.5
16	装 展 脱 水(")	"	85(0)	51.2	10.3	54.4	10.7	24.5
17	花 糸 台 持(")	"	335(335)	50.3	8.1	54.7	7.5	20.2
18	総 撰 別(")	"	174(174)	51.7	8.6	56.1	8.4	20.4
19	原液工程保全(")	"	88(2)	57.6	10.1	58.1	10.7	30.4
20	紡糸工程保全(")	"	217(5)	54.2	8.9	52.2	8.7	30.0
21	仕上工程保全(")	"	96(5)	52.8	9.3	53.9	9.4	29.5
22	総 工 程 保 全(")	"	44(4)	52.7	8.9	50.7	9.0	34.9
23	總系工程保全(")	"	39(1)	55.1	10.2	56.3	9.5	28.4
24	研究・試験・分析(")	"	556(177)	60.8	9.0	63.3	8.7	33.9
25	ボツエ-7-分解・修理(")	"	62(10)	50.8	10.4	50.6	9.9	34.5
26	索紡・精紡・台持(")	"	50(50)	49.1	8.3	54.4	7.5	18.5
3. 石 油 業								
27	掘 削 鉸 手(番長)	I-II桐	21(0)	55.4	9.0	52.7	8.8	39.2

No	職 種	検 査	N() は 女子の再婚	Z N		A Z S		年 令
				m	S	m	S	
28	掘 削 鉦 手(番長下)	I II 桐	13(0)	55.4	6.9	56.5	7.0	31.4
29	(3,4,5番手)	"	60(0)	54.5	9.3	56.6	8.8	27.0
30	セメンチンダ	"	6(0)	61.2	7.3	61.7	7.6	27.5
31	鉄 管 工 手	"	9(0)	48.0	5.9	48.3	5.6	34.2
32	ガ ン バ ー	"	3(0)	50.4	5.8	53.7	5.3	27.5
33	採 油 鉦 手(Y地区)	"	37(0)	52.0	10.6	51.3	10.9	36.2
34	(O地区)	"	25(0)	52.6	7.9	50.9	8.4	37.1
35	(K地区)	"	39(0)	53.5	8.6	52.6	9.6	33.5
36	泥 水 試 験	"	4(0)	62.4	6.3	62.9	6.1	27.5
37	採 油	"	6(0)	61.5	5.8	62.6	5.5	26.7
38	ガ ス 鉦 手	"	7(0)	51.8	8.7	49.6	8.4	37.5
39	送 油 鉦 手	"	24(0)	50.7	7.0	50.1	6.2	33.6
40	ガ ス 手	"	32(0)	57.8	8.8	56.6	8.7	36.4
41	橋 火 工	"	26(0)	50.4	7.8	49.0	7.6	37.7
42	技 術 社 員	"	18(0)	67.0	8.1	66.4	8.9	32.8
4. 鉄 鋼 業								
43	平 炉 製 鋼 工	I	16(0)	55.5	7.2	56.7	6.8	28.8
44	造 塊	I	20(0)	51.8	10.0	54.3	9.4	29.5
45	ガ ス 発 生 炉 工	"	18(0)	49.5	7.9	51.7	6.8	28.6
46	製 型	I	47(0)	57.3	8.6	57.8	8.4	28.7
47	鑄 放	I	20(0)	47.5	8.4	48.3	9.5	32.5
48	操 炉	I	34(0)	53.8	7.0	54.2	7.2	32.8
49	正 延	I	44(0)	54.1	8.0	54.9	8.1	29.6
50	精 製	I	29(0)	54.6	7.8	53.8	7.6	32.5
51	鍛 造	I	33(0)	55.0	5.5	55.0	6.2	32.7
52	機 械 組 立 工	I	29(0)	55.3	7.3	55.8	6.7	31.3
53	熔 燒	I	19(0)	53.1	7.6	56.0	7.6	24.4
54	珐 瑯	I	31(0)	52.5	9.6	53.3	8.7	30.7
55	接 棒 製 造 工	"	11(0)	49.3	8.1	53.8	6.5	21.2
56	製 品 検 査 工	"	41(0)	57.0	8.1	57.4	7.9	31.8
57	木 型 工	"	30(0)	54.9	7.6	56.9	7.2	26.7

No	職	種	検査	n・()は 女子の再掲	Z S		A Z S		年令	
					m	S	m	S		
58	玉	掛	工	I	12(0)	51.6	6.3	52.9	5.7	31.3
59	罐	搬	工	"	16(0)	51.4	6.6	53.9	6.8	29.1
60	原	料	工	"	18(0)	51.2	8.7	53.7	7.3	25.6
61	整	理	工	"	19(0)	51.0	7.2	53.9	6.2	24.9
62	畏	離	工	I・桐	57(0)	53.8	8.1	54.1	7.5	31.4
63	熔	接	工	I・E桐	127(0)	53.8	9.1	53.2	8.2	32.3
64	罪	書	工	L・桐	19(0)	59.1	8.5	58.6	7.1	32.0
65	板	金	工	"	29(1)	55.6	9.4	56.5	9.2	29.0
66	配	管	工	桐	32(0)	54.5	8.5	54.5	8.0	32.5
5. 金属業										
67	アルミナ投入(電解・炉前)		I		78(0)	51.1	10.6	52.2	11.2	30.9
68	ラスト割(")		"		146(0)	51.5	10.2	52.0	10.3	32.1
69	炉前後付(")		"		22(0)	55.0	7.5	53.4	7.3	38.2
70	キーパー(")		"		57(0)	50.9	7.3	49.1	6.7	37.3
71	起	動(")	"		9(0)	54.8	9.8	53.1	9.1	37.0
72	上	昇(")	"		8(0)	53.9	14.6	52.0	12.8	36.9
73	ペースト(電解・装備)		"		13(0)	54.3	8.2	52.0	6.2	36.0
74	接	枝(")	"		19(0)	48.9	7.8	48.1	6.4	38.1
75	材	料(")	"		14(0)	48.8	16.1	51.0	7.6	30.4
76	輸	送(")	"		9(0)	44.8	12.3	45.4	8.5	34.2
77	熔	解(電解・鑄造)	"		38(0)	53.3	7.7	51.5	7.1	37.9
78	地	金(")	"		30(0)	51.4	8.3	49.4	8.7	37.0
79	平	銅 詰(装備・薬炉)	"		7(0)	51.3	6.3	50.6	5.2	34.0
80	煉	瓦(")	"		6(0)	45.4	2.4	47.9	3.5	30.9
81	据	付(")	"		5(0)	55.0	2.5	54.0	4.0	33.5
82	解	体(")	"		10(0)	44.5	8.2	43.0	6.3	36.5
83	目	地(")	"		13(0)	49.3	7.8	48.6	8.7	36.0
84	保	繕(")	"		7(0)	49.9	6.5	47.0	5.4	41.1
85	ペースト(装備・電極)		"		20(0)	51.5	7.4	49.8	9.0	39.3
86	粗	弁(")	"		8(0)	50.1	10.0	45.1	9.0	40.0
87	秤量	泥 捏(")	"		8(0)	52.0	4.4	49.5	5.6	38.2

No	廠	煙	検査	H・C()は 女子の再発	Z S		A Z S		年令
					m	S	m	S	
88	ガス	処理(装備・浄化)	I	11(0)	51.6	9.7	51.1	8.2	34.3
89	コンプレッサー()	"	"	3(0)	48.7	6.3	47.0	7.1	40.9
90	炉	率乾燥()	"	7(0)	57.2	4.2	57.0	4.7	34.0
91	カーバイト投入(電 炉)	"	"	12(0)	52.0	6.2	49.1	6.3	38.4
92	"	タップ()	"	8(0)	50.1	10.0	49.5	8.7	35.0
93	石	灰()	"	10(0)	51.5	5.7	49.5	5.6	39.0
94	揚	鉦(焙 焼)	"	15(0)	57.4	6.2	56.4	5.5	35.9
95	焼	成()	"	7(0)	52.9	7.2	53.5	5.9	32.2
96	キルン	運転()	"	5(0)	51.0	8.6	50.0	10.3	36.5
97	焼成・キルン	運転(煖 煙)	"	16(0)	57.3	6.3	57.7	6.6	31.6
98	原	料()	"	12(0)	46.2	11.2	44.9	12.2	35.4
99	ダスト	循環()	"	7(0)	54.9	7.5	54.9	7.5	31.1
100	製	品()	"	12(0)	52.9	6.1	52.9	7.9	33.4
101	煉	瓦()	"	4(0)	57.0	11.8	57.0	11.8	32.5
102	整	備()	"	9(0)	59.3	8.6	62.0	7.5	26.4
103	稀	釈(赤 泥)	"	10(0)	56.5	8.8	57.0	9.0	32.0
104	濃	密()	"	20(0)	52.3	10.7	51.5	10.0	34.8
105	炉	過()	"	36(0)	49.7	9.9	48.4	10.2	36.1
106	炉	布 整 備()	"	6(0)	49.5	4.8	47.9	6.8	40.0
107	整	備()	"	16(0)	56.1	5.1	55.8	6.5	32.8
108	蒸	煮(蒸 煮)	"	13(0)	57.4	7.2	54.3	6.4	35.1
109	混	合()	"	12(0)	51.6	6.3	51.6	7.8	33.4
110	拵	出(白 泥)	"	13(0)	57.4	8.5	58.6	6.6	36.4
111	炉	過()	"	20(0)	52.5	10.4	50.5	2.7	36.8
112	濃	密()	"	7(0)	57.7	7.3	57.7	7.3	31.8
113	操	液(蒸 発)	"	13(0)	49.3	7.0	48.6	6.3	36.8
114	蒸	発 罐()	"	11(0)	55.2	7.5	55.7	7.2	28.9
115	蒸	発()	"	6(0)	56.2	3.5	52.9	11.2	40.9
116	選 鉦	工 場(井 兼)	"	14(0)	51.3	6.3	52.4	4.4	30.0
117	電 槽	構 築 整 備(昔 煙)	"	15(0)	55.4	10.1	56.4	9.8	31.9
118	電 槽	工()	"	11(0)	62.0	6.1	61.6	8.4	30.2

No	職 種	検 査	n・()は 女子の再掲	Z S		A Z S		年令
				m	S	m	S	
119	書 簿 精 整 (書 簿)	I	10(0)	58.0	8.0	59.0	9.8	29.5
120	〃 晒 液 (〃)	〃	6(0)	53.7	5.6	57.9	4.5	23.4
121	液 温 (〃)	〃	12(0)	56.2	10.4	58.7	10.9	27.5
122	実 験・分 析	〃	53(0)	60.6	7.6	63.1	7.5	25.6
6. 電 気 機 器 製 造 業								
123	ダイナモ組付 (電 装)	II	20(11)	52.8	9.0	57.5	7.3	22.8
124	レギュレーター (〃)	〃	12(5)	49.9	11.3	54.1	9.9	24.6
125	スターター (〃)	〃	24(6)	52.9	11.5	56.2	12.2	25.0
126	ラジオター (〃)	〃	11(3)	52.5	6.2	54.3	6.5	29.3
127	メーター (〃)	〃	28(9)	54.9	7.4	56.8	7.4	25.4
128	デイス (〃)	〃	11(4)	54.3	6.2	55.7	6.1	27.5
129	ヒーター (〃)	〃	2(0)	52.0	10.0	52.0	5.0	35.0
130	ホーン (〃)	〃	21(6)	53.7	8.3	56.6	5.6	25.0
131	洗濯機 (〃)	〃	13(6)	48.2	10.4	52.0	8.6	24.8
132	仕 上 工 (〃)	〃	51(0)	59.5	7.6	59.7	6.6	29.4
133	検 査 工 (〃)	〃	68(15)	56.7	8.9	58.7	8.0	24.9
7. 運 輸 業								
134	自動車運転手 (各 種)	I・II桐	50(0)	53.8	9.2	53.6	8.6	32.9
135	車 掌	I	122(0)	55.1	6.7	57.9	6.1	24.8
136	出 札 ※	〃	53(0)	59.2	7.6	62.2	6.9	24.9
137	自 動 車 整 備	I・II桐	17(0)	56.0	7.9	53.6	7.2	37.2
138	自動車運転手 (各 種)	〃	32(0)	55.5	10.0	54.8	9.9	33.6
139	上 乗 車	〃	20(0)	48.4	10.3	47.7	11.2	36.0
8. 電 気 業								
140	発・変電所・開閉所・整流所 (<small>レギュレーター</small>)	桐	52(0)	57.4	7.7	57.3	7.8	33.2
141	(全 属)	I	93(0)	58.0	8.5	57.2	8.8	34.3
142	(計 算)	桐 I	145(0)	57.8	8.2	57.3	8.5	33.4
143	電 気 工 事	I・II桐	270(0)	55.5	8.3	57.4	8.4	27.0
144	電 気 工 事・電 機 修 理	I・桐	104(0)	59.1	8.5	60.9	8.5	26.9
145	〃	I・II桐	74(0)	56.4	8.7	58.3	8.6	27.0
146	総務関係事務 (電力会社)	I	26(3)	62.2	8.1	62.0	8.8	31.9

※注) 出札の業務は、将来、幹部となる者が多く従事しているため、得点が高くなつてゐると考えられる。

No	職 種	検 査	N.()は 女子の再掲	Z S		A Z S		年令
				M	S	m	s	
147	測定関係事務 (電力会社)	I	62(37)	61.6	7.3	64.6	6.7	23.4
148	営業 " (")	"	24(4)	62.2	5.3	61.0	6.8	34.4
149	(計)出張所事務 (")	"	112(44)	61.9	7.1	63.2	7.4	27.7
9. 林 野 業								
150	造 材 手	I II	76(0)	51.0	8.5	50.2	8.8	35.6
151	産 材 手	"	85(0)	46.6	9.5	47.6	9.2	32.4
152	産 材 手	"	29(0)	47.9	8.8	48.2	7.5	34.1
153	運 転 手 (軌 道)	II	71(0)	50.7	6.9	53.1	6.3	27.0
154	運 転 助 手	I II	36(0)	47.7	7.1	52.6	7.0	22.1
155	保 線	II	91(0)	46.5	7.9	49.7	6.6	27.4
156	木 寄	"	55(0)	43.9	8.1	41.9	7.8	40.1
157	積 込	"	25(0)	45.0	7.8	46.6	8.0	29.9
158	巻 立	"	35(0)	47.6	8.4	49.9	6.7	29.8
159	杓 夫	"	5(0)	40.0	4.0	39.0	6.8	38.5
160	木 馬 手	"	5(0)	42.0	3.2	44.0	2.5	27.8
10. 共 通 職 種								
161	旋 盤 I	桐	27(0)	54.6	12.7	55.7	12.5	33.5
162	旋盤等工作機械操作員	I・II桐	276(3)	55.7	8.5	56.5	8.1	29.7
163	設 計 (機械関係)	桐	54(1)	68.7	7.9	70.1	7.5	26.6
164	起 重 機 運 転 工	I 桐	64(0)	55.1	8.8	55.7	8.6	30.1
165	工 具 ・ 倉 庫 係	桐	61(10)	55.4	9.7	55.5	10.3	33.0
166	"	I	33(0)	53.5	8.6	51.1	8.6	38.3
167	木 工 (大 工)	桐	49(0)	56.5	9.9	54.7	10.9	36.5
168	保 安 ・ 守 衛 係	"	142(0)	58.9	9.0	55.3	8.3	39.7
169	調 理 ・ 炊 事 係	"	80(29)	51.3	10.3	50.8	9.7	33.7
170	寄 宿 舎 世 話 係	"	56(35)	58.1	10.0	56.9	9.9	37.1
171	事 務 (各 種) (レ-ソ工場)	"	387(219)	61.5	9.4	63.5	9.1	25.7
172	" (") (金 属 工 場)	I	16(16)	59.5	7.9	63.6	5.8	21.3
173	" (") (")	"	23(23)	57.5	6.3	62.0	5.1	22.3
174	" (") (石 炭 業)	I・II桐	30(0)	58.6	8.2	58.0	4.4	33.0

注. N=標本数 ZS=相対尺度 AZS=絶対尺度 M=平均点 S=標準偏差

労働科学研究所成人知能検査

第3表 Kレヨン・部門・地位別知能水準(その1)

部 門	地 位	N ()は女子の再掲	Z S		AZS		年 令		経 験 年 数		教 育 程 度			
			M	S.D	M	S.D	M	S.D.	M	S.D	初 等	中 等	高 等	修 学 年 数
全 工 場	合 計	7,571(2,521)	54.00	10.15	56.00	9.63	26.85	8.46	5.07	3.68	5,473	1,952	146	9.00
	主 任 長	16(0)	69.50	7.05	65.10	6.60	40.30	6.90	13.05	6.42	0	5	11	14.77
	係 長	37(0)	65.35	9.35	62.40	10.35	37.65	8.20	15.58	8.67	11	8	18	13.30
	担 任 手 長	168(1)	63.35	9.05	62.00	10.50	34.70	9.35	11.88	9.00	50	32	86	13.16
	組 長	397(19)	57.35	9.85	55.30	9.80	37.65	7.65	13.44	5.76	293	99	5	9.85
	役 付 (計)	796(160)	56.85	9.70	57.15	9.50	31.30	7.55	7.50	3.69	544	244	8	10.00
	普 通 社 員	1,414(180)	58.10	10.05	57.45	10.15	33.75	8.35	9.84	5.91	898	389	127	10.42
製 造 部 門	合 計	4,712(1,995)	52.30	9.55	55.10	8.95	24.65	7.00	4.95	3.87	3,826	848	38	9.58
	主 任 長	6(0)	67.00	5.75	62.50	5.60	37.33	3.45	16.00	4.50	0	2	4	14.68
	係 長	7(0)	62.70	10.15	61.30	10.50	36.05	10.90	17.10	9.18	3	0	4	13.00
	担 任 手 長	61(0)	62.10	9.10	59.95	10.55	36.10	9.25	14.13	9.69	29	8	24	12.19
	組 長	164(6)	54.75	9.50	53.55	9.30	36.60	7.00	14.73	5.10	136	28	0	9.50
	役 付 (計)	404(113)	54.75	9.20	55.70	8.80	29.70	6.85	7.23	3.54	304	98	2	9.76
	普 通 社 員	642(124)	55.60	9.55	55.70	9.30	32.20	7.85	9.84	6.03	472	136	34	10.00
保 全 部 門	合 計	4,070(1,871)	51.80	9.45	55.00	8.95	23.45	6.05	3.69	2.28	3,354	712	4	9.52
	主 任 長	1,053(85)	55.80	10.15	53.00	9.50	30.00	8.50	6.54	4.74	729	289	35	10.98
	係 長	1(0)	62.00	. 00	57.00	. 00	42.50	. 00	25.50	. 00	0	1	0	12.00
	担 任 手 長	10(0)	66.50	10.60	62.50	13.15	39.00	7.45	15.00	10.77	5	1	4	13.40
	組 長	37(0)	65.65	10.55	65.80	11.00	30.60	7.30	9.00	9.09	8	2	27	14.22
	役 付 (計)	63(0)	57.10	10.20	54.35	10.55	39.25	7.50	13.89	4.98	51	11	1	9.61
	普 通 社 員	129(0)	57.10	10.00	56.55	10.05	33.70	7.40	8.37	4.26	103	26	0	9.60
原 動 部 門	合 計	240(0)	58.85	10.70	57.65	11.15	34.95	8.05	10.11	6.06	167	41	32	10.42
	主 任 長	813(85)	54.95	9.80	56.30	9.95	28.50	8.10	5.57	3.24	562	348	3	9.90
	係 長	493(23)	55.85	9.70	56.35	9.75	30.80	9.55	5.91	5.04	338	150	5	9.99
	担 任 手 長	2(0)	69.50	2.50	59.50	2.50	52.50	5.00	12.00	4.50	0	1	1	14.00
	組 長	2(0)	69.50	2.50	59.50	2.50	47.50	. 00	24.00	1.50	1	1	0	10.50
	役 付 (計)	10(0)	61.00	4.05	57.50	8.50	40.00	10.05	18.66	7.47	5	2	3	11.70
	普 通 社 員	38(0)	58.30	7.65	54.25	6.55	41.70	8.15	14.61	5.43	33	5	0	9.40
営 繕 部 門	合 計	72(0)	59.25	7.70	59.15	8.25	33.40	8.20	7.77	3.72	51	20	1	9.92
	主 任 長	124(0)	59.45	7.60	57.55	8.00	37.00	9.40	11.10	6.24	90	29	5	9.98
	係 長	369(23)	54.55	10.00	55.95	10.25	28.70	8.65	4.77	2.76	248	121	0	10.00
	担 任 手 長	143(12)	56.80	10.90	55.85	12.00	35.10	9.80	7.83	4.14	100	40	3	10.00
	組 長	0(0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	役 付 (計)	3(0)	62.00	7.05	68.65	9.40	42.50	8.15	12.00	4.50	0	2	1	13.33
	普 通 社 員	5(0)	69.00	5.10	69.00	6.95	31.50	5.85	10.50	2.46	0	3	2	13.60
営 繕 部 門	担 任 手 長	12(0)	61.80	9.90	57.00	10.80	39.60	7.75	11.76	4.32	8	4	0	10.00
	組 長	19(0)	59.90	13.20	58.30	13.90	38.05	7.40	10.50	4.35	14	5	0	9.79
	役 付 (計)	39(0)	61.25	11.40	59.30	12.55	38.00	7.90	11.01	4.29	22	14	3	10.60
	普 通 社 員	104(12)	55.25	10.20	54.55	11.50	34.00	10.20	6.51	3.30	78	26	0	9.70

Kレ-ヨン・部門・地位別知能水準(その2)

部門	地位	N ()は女子の再掲	Z S		AZ S		年 令		経験年数		教 育 程 度			
			M	S.D.	M	S.D.	M	S.D.	M	S.D.	初 等	中 等	高 等	修学年数
研究部門	合 計	365(169)	61.05	8.50	63.55	8.35	23.15	5.10	4.29	3.96	62	275	28	1180
	主 任	2(0)	69.50	2.50	67.00	5.00	37.50	5.00	12.00	1.50	0	0	2	16.00
	係 長	7(0)	66.30	5.60	65.55	7.45	31.80	3.20	10.50	7.59	1	0	6	15.00
	担 任	21(0)	65.80	7.70	66.75	8.25	29.90	6.00	5.64	6.18	0	4	17	15.20
	助 手	17(1)	62.00	8.75	62.30	9.30	31.90	6.40	13.08	5.43	10	7	0	10.24
	組 長	42(8)	61.15	7.95	62.25	7.55	26.05	4.35	6.30	2.19	10	31	1	11.38
	役付(計)	89(9)	63.00	8.15	63.70	8.25	28.75	5.85	7.92	5.40	21	42	26	12.42
普通社員	276(160)	60.40	8.55	63.50	8.35	21.35	3.25	2.85	1.83	41	233	2	11.58	
業務部門	合 計	187(21)	55.95	10.05	56.10	10.25	32.00	9.50	7.53	5.25	118	60	9	10.28
	主 任	2(0)	67.00	10.00	64.50	7.50	40.00	2.50	13.50	6.00	0	1	1	14.00
	係 長	1(0)	62.00	.00	57.00	.00	37.50	.00	19.50	.00	0	1	0	12.00
	担 任	7(0)	59.85	5.20	59.15	6.45	35.35	7.00	13.50	4.89	1	3	3	13.30
	助 手	22(0)	60.85	8.90	57.90	9.40	38.85	8.30	11.70	4.89	16	6	0	9.80
	組 長	26(2)	55.65	9.85	54.70	10.95	34.40	8.90	10.35	5.43	18	7	1	10.20
	役付(計)	58(2)	58.65	9.40	56.80	9.95	36.45	8.50	10.58	5.37	35	18	5	10.52
普通社員	129(19)	54.70	10.05	55.75	10.35	30.00	9.20	5.01	3.21	83	42	4	10.18	
会計部門	合 計	72(39)	60.20	8.10	62.70	7.90	24.95	4.95	6.00	3.03	4	64	4	12.30
	主 任	0(0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	係 長	2(0)	54.50	7.50	52.00	5.00	35.00	2.50	15.00	4.50	0	1	1	14.00
	担 任	5(0)	65.00	10.30	64.00	10.30	34.50	6.00	7.50	4.23	0	3	2	13.60
	助 手	6(0)	58.65	6.45	60.35	6.90	25.00	2.50	7.50	.00	0	6	0	12.00
	組 長	14(8)	60.95	8.70	63.05	7.85	26.80	3.20	6.75	1.32	2	12	0	11.58
	役付(計)	27(8)	60.70	8.90	61.80	8.55	28.40	5.25	7.79	3.39	2	22	3	12.20
普通社員	45(31)	59.90	7.55	63.20	7.40	22.85	3.20	4.62	1.71	2	42	1	11.98	
庶務部門	合 計	64(26)	53.65	11.65	52.60	12.50	35.45	11.15	7.50	5.85	34	26	4	10.62
	主 任	0(0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	係 長	2(0)	72.00	10.00	72.00	5.00	32.50	5.00	—	—	0	0	2	16.00
	担 任	4(0)	62.00	7.90	59.50	5.60	36.25	8.95	15.00	1.50	0	2	2	14.00
	助 手	5(1)	54.00	4.00	52.00	4.45	38.50	7.35	11.70	6.45	2	3	0	10.80
	組 長	8(5)	59.50	11.75	60.75	11.10	30.60	7.05	9.90	2.25	3	5	0	10.88
	役付(計)	19(6)	59.35	9.65	59.35	9.90	34.10	8.15	11.49	4.80	5	10	4	12.02
普通社員	69(25)	53.90	11.40	52.65	12.40	35.70	10.40	4.98	4.98	44	24	1	10.00	
勤労部門	合 計	482(151)	58.25	10.55	57.05	10.60	34.95	9.20	6.75	5.01	262	200	20	10.53
	主 任	3(0)	78.65	2.35	72.00	4.10	40.35	4.70	4.50	3.00	0	0	3	16.00
	係 長	3(0)	70.35	6.25	65.35	6.25	44.15	2.35	19.50	3.00	1	2	0	11.00
	担 任	18(1)	60.90	8.45	57.55	9.30	41.65	10.95	13.29	7.53	7	5	6	12.12
	助 手	70(1)	60.65	10.60	57.95	10.70	38.05	7.25	10.32	5.58	37	30	3	10.60
	組 長	82(19)	61.15	10.30	54.05	9.95	34.65	7.85	6.12	2.70	39	40	3	10.72
	役付(計)	176(31)	61.35	10.40	59.20	10.30	37.00	8.30	8.88	5.52	84	77	15	10.88
普通社員	282(115)	56.25	10.15	55.60	10.50	33.65	9.75	5.31	3.69	63	115	4	10.32	

注) Z S = 相対尺度 AZ S = 絶対尺度 N = 標本数 M = 平均点 S D = 標準偏差

第 4 表 N 軽金屬・工場・地位別・知能水準

工場	地位別	N ()は女子 の再掲	ZS		AZS		年 令		経 験 年 数		育 程 度			
			M	S.D	M	S.D	M	S.D	M	S.D	初 等	中 等	高 等	修 業 年 数
全工場	組長	30(0)	56.85	6.25	53.00	6.65	42.50	5.60	14.70	9.21	27	3	0	9.30
	伍長	60(0)	56.40	7.50	52.65	7.05	40.65	6.15	10.74	5.94	58	4	1	9.30
	班長	172(0)	54.75	8.00	52.20	7.50	39.00	5.60	9.87	5.64	158	14	0	9.25
	役付(計)	262(0)	55.35	7.75	52.40	7.30	39.80	5.85	10.62	6.39	240	21	1	9.28
	一 般	1,503(57)	52.80	9.25	53.00	9.50	32.65	8.60	5.07	4.62	1,255	241	7	9.49
	合 計	17,55(57)	53.14	9.14	52.90	9.24	33.70	8.60	5.91	5.31	1,495	262	8	9.47
S工場	組長	6(0)	59.50	2.50	57.00	00	38.35	3.49	10.50	1.00	6	0	0	9.00
	伍長	32(0)	55.75	7.50	52.30	6.85	39.85	6.15	11.25	5.79	29	3	0	9.29
	班長	74(0)	54.50	8.20	51.75	7.90	39.20	5.40	9.27	5.52	69	5	0	9.21
	役付(計)	112(0)	55.10	7.95	52.20	7.45	39.35	5.55	9.90	5.37	104	8	0	9.21
	一 般	656(34)	54.10	9.05	54.70	9.45	31.45	8.70	5.01	4.17	516	136	4	9.68
	合 計	768(34)	54.25	8.90	53.55	8.75	32.60	8.75	5.73	4.71	620	144	4	9.61
K工場	組長	24(0)	56.15	6.70	52.00	7.05	43.55	5.60	15.63	2.49	21	3	0	9.38
	伍長	28(0)	57.20	7.40	53.10	7.25	41.60	6.00	10.17	6.63	26	1	1	9.33
	班長	98(0)	54.95	7.80	52.55	7.20	38.90	5.70	10.32	5.70	89	9	0	9.28
	役付(計)	150(0)	55.55	7.60	52.55	7.20	40.15	6.00	11.16	7.05	136	13	1	9.31
	一 般	247(23)	51.80	9.35	51.65	9.30	33.60	8.45	5.16	4.95	739	105	3	9.40
	合 計	997(23)	52.40	9.20	51.60	9.25	34.60	8.45	6.06	5.73	875	118	4	9.38

注) N=標本数 ZS=相対尺度 AZS=絶対尺度 M=平均点 S.D=標準偏差

(2) 中高年令婦人の性格等について

男女別、年齢別に性格等（主に対人的な面）について調べたのが第ノ図である。

これは平均値であるので、勿論個人差があるが、一般に年齢が高まるにつれて外向性とくに対人的な面での得点が高くなり積極的になる。これは男女とも同様だが、とくに女子は30才を境に社交性の伸びが著るしい。女子の指導性、向性、情慮安定性も年齢とともに高まっている。

20代の女子は得点が低く、職業に就いた直後であるなどの影響があるためが一番不安定な時期といえる。男子の場合も20代30代は割合低く、外界の圧迫をまともに受けている時代といえる。男子はそれをのりこえるのが40代ということになる。女子の場合は30代から得点が急に上昇している。

一般に中高年になると精神が安定し落ち着きが出てくる。また人間関係の上でも円滑になり若い人よりも労務管理はうまくゆくようになると考えられる。

性格は個人差が大きいが、年齢が高くなっても社会的直能がうまくゆく人も多く、極端な性格でない限り、中高年になって新たな職業についても、結構うまくやってゆけると考えられる。

(3) 結 論

以上述べてきたことからわかるように結論的にいえば、精神機能の上では男女差はないといえる。

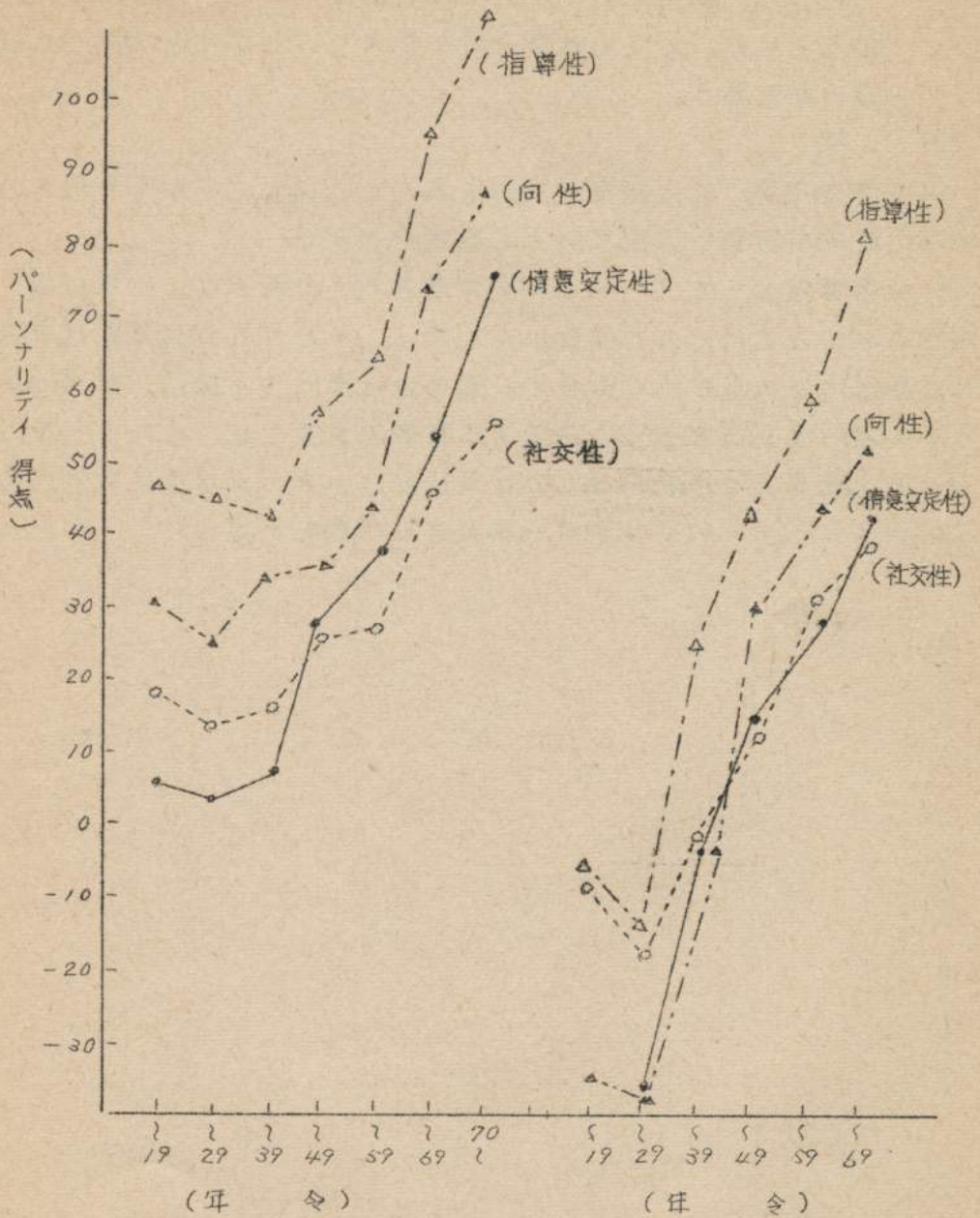
平均をみると若干女子の得点は低くなっているが、個人個人をみると女子にも非常に優秀なものもいるし、男子にも知能の低いものがある。平均で物をいうことは大変危険で男女差よりも個人差が大きく、得点の分布が非常にオーバーラップする面が多い。

従つて、精神機能の上からみると女子もあらゆる職業に従

労研パーソナリティ・テストによる年令別・パーソナリティ得点

男 N : 2,577名

女 N : 797名



注) N = 標本数

事できる能力を持っている。

むしろ、私は、女子が充分働けるような社会的条件を整備することが、女子の就業分野を拡大する上での先決問題ではないかと思う。

〔質疑〕

——作業環境、社会環境を改善することによって中高年令婦人のしつ心理的特質をどの程度向上できるだろうか。

○ 労務管理上モチベーション（労働意欲）の面がうまくゆけば、相当のどこまで行くのではないかと思う。イギリスの研究では中高年は非常にとっかかりがおそく、新しい仕事につく場合、非常に損をするが一度おぼえると、安定する特徴があること、また、一度に力を出す仕事より持続的なものが良いというデータが出されている。私はやはりモチベーションが一番大きな問題だと思う。

